

1台積み車両運搬車
フラットップ® Zero II

JN0*-46, 47

取扱説明書

ご使用前に本書を必ずお読みください。
取扱説明書は車の中に保管しましょう。

極東開発工業株式会社

このたびはフラトップをお買い上げいただき 誠にありがとうございます。

本書は、フラトップの正しい取り扱い方法と点検・手入れについて説明してあります。

作業の安全と効率化のためには正しく上手な取り扱いが必要です。
ご使用の前に本書を必ずお読みください。

- 必読！厳守事項、△危険、△警告、△注意は特に重要な事項です。必ず読んで守ってください。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車が損傷するなどの恐れがあります。
- 本書のなかで使用されている記号は次のようにになっています。

△ 危険	取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
△ 警告	取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
△ 注意	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
*	取り扱い、操作方法、点検整備等に関する参考となる事項について記載してあります。

- フラトップ架装部以外の取り扱いについては、車両メーカーの「取扱説明書」をご覧ください。また、フラトップ以外の架装装置の取り扱いについては、それぞれ架装装置の「取扱説明書」をご覧ください。
- 使用者が変更になる場合は、次に使用される方のために本書を車両についておいてください。また、車両を譲り受けられた方は、極東開発工業株式会社販売店までお知らせください。
- ご不明な点がありましたら、巻末に記載されている極東開発工業株式会社サービス拠点までお問い合わせください。
- お車の仕様などの変更により、本書の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。
- フラトップの取り扱いに関する法令は、道路交通法、道路交通法施行令、労働安全衛生規則に記載されています。

目 次

必読！厳守事項	2
■ボデースライド途中状態の厳守事項	
■コーチョンプレート	
■作業中の厳守事項	
■点検・整備に関する注意	
■機能部品の取り扱いに関する注意	
■高圧(スチーム)洗浄に関する注意	
■ラジコンに関する注意	
装置の説明.....	26
■各部の名称・操作スイッチの配置	
■ボデー格納確認装置	
■ウインチクラッチ確認ランプ	
■設備品	
操作方法.....	31
■エンジンの始動と PTO「ON」の操作	
■ボデーのスライド操作	
■ウインチの操作	
■ラジコン送信機・受信機の取り扱い	
■アイドルアップ操作	
■テールゲートロック装置の操作	
■PTO「OFF」とエンジン停止の操作	
■タイヤキャリアの取り扱い	
■オプションの取り扱い	
車両積載作業の順序.....	48
■車両積み込み作業	
■車両降ろし作業	
保守・点検.....	55
■点検	
■給脂	
■給油	
■交換部品	
■消耗部品	
■チェーンの調整・洗浄	
■ラジコン(送信機)の電池交換方法	
■ラジコントラブル時の処置表	
主要仕様.....	73
■主要諸元	
■ラジコン	
サービス拠点.....	74

■ ボデースライド途中状態の厳守事項

△ 危険

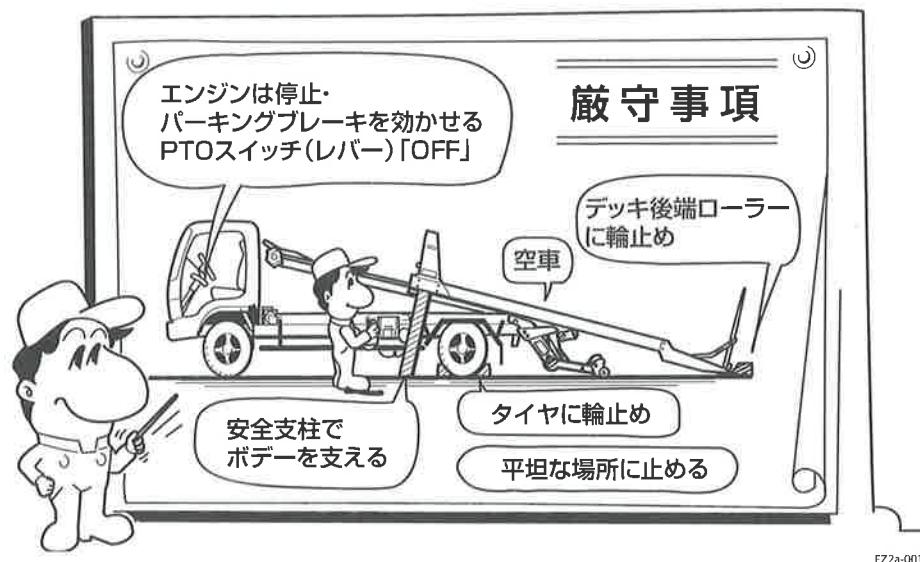
スライド途中の状態で、ボデーの下には絶対に入らないでください。点検・修理などのときは、ボデーを最後まで降ろした状態で行ってください。

また、やむをえず点検・修理などの目的でボデーの下に入る場合には、下記の厳守事項を必ず守ってください。

（「労働安全衛生規則」第151条の9で定められています。）

- 積載物を降ろし、空車の状態にする。
- 車両を平坦な場所に止める。
- エンジンは停止する。
- パーキングブレーキを確実に効かせる。
- タイヤに輪止めをする。
- デッキ後端ローラーに輪止めをする。
- PTOスイッチ(レバー)を「OFF」にする。
- 安全支柱を使用し、ボデーを支える。

安全支柱は強度に十分余裕のあるもの（10cm角以上の堅木相当品）を、左右各1本ずつ使用する。

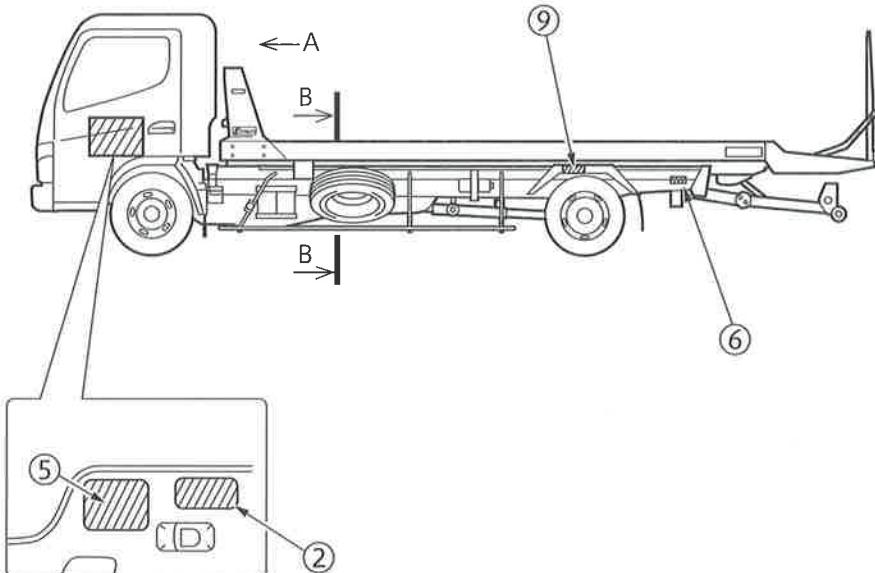
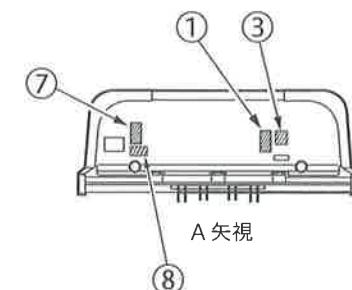
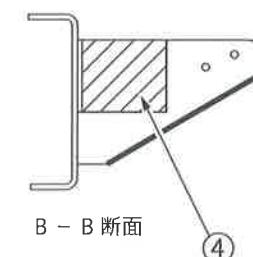


FZ2a-001A

■ コーションプレート

以下のコーションプレートは重要ですので、ご使用の前に必ずお読みください。記載事項が見えにくくなったり、貼り付けてある部品の交換等を行った際には、必ず新しいものに貼り替えてください。

(例)



FZ2a-002A

① ウインチプレート

! 警 告

- ワイヤーロープに異常がないか必ず点検してからお使いください。
- ワイヤーロープは必ず所定の滑車を使い斜引きは絶対にしないでください。
- 大変危険ですので積載物を吊っている状態では絶対にクラッチを切らないでください。
- 積載物を吊る時は、クラッチがONになっている事を確認してから操作をおこなってください。
ウインチ操作時はスナッチブロック(滑車)やワイヤーロープ及びウインチドラムに触れない様にしてください。巻き込まれ事故の原因となり大変危険です。
- 積載物をウインチで吊っている時は積載物の前後に近づかないように十分注意してください。
万一、誤操作、故障により落下、巻き込まれ等の事故の原因となり、大変危険です。

JN98-Y0173

② PTO レバー操作プレート

! 注意

走行時は、PTO
スイッチを「OFF」
にしてください

AR90-Y0324

③ クラッチプレート

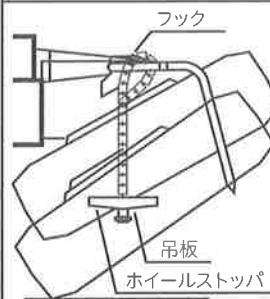
! 警 告

- ウインチ操作を行なう前に、クラッチ確認ランプが点灯していることでクラッチに十分に噛み合っていることを確認してください。
噛み合いが不十分なままウインチ操作を行なうと、事故の原因になります。
- 走行中はクラッチレバーをONにし、ウインチフックはしっかりと固定してください。
また、ウインチフックでの積載車の固縛は禁止です。
所定の荷締め機を用いて固縛してください。

JN98-Y0177

④ STC 操作プレート

タイヤの脱着方法



下る 左回転 (○) 右回転 上る

ハンドル29.5N·m (3.0kgf·m)
以上の力で締め付けてください。

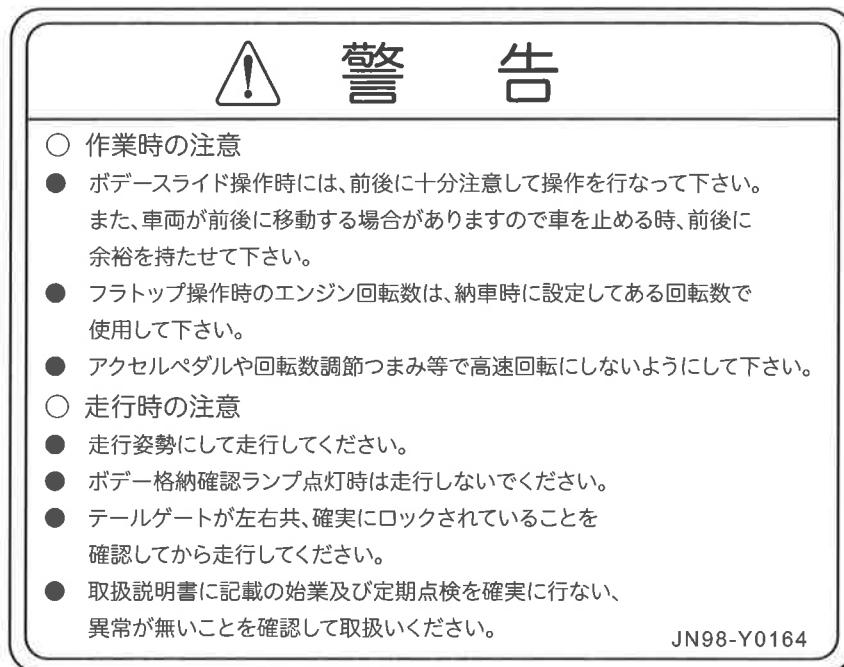
1. タイヤのはずし方
 - ・ チェーンをフックから外し、シャシ装着品のハンドルを使用してタイヤがサイドバンパと地面に接地するまで巻下げてください。
2. タイヤの取付け方
 - ・ スペアタイヤを持ち上げてサイドバンパの上から図の通り置いてください。
 - ・ ホイールストッパーをホイール内側へ確実に装着してください。
 - ・ シャシ装着品のハンドルを使用し、ホイールストッパーがホイール内側に掛かっていることを確認しながら、巻上げてください。
 - ・ チェーンがねじれた状態で巻上げはしないでください。
 - ・ 巷上げ時の締め付け力は左記の値を守ってください。
 - ・ 締付後はハンドルを逆転しないで抜いてください。
 - ・ 巷上げ完了後、チェーンをフックにかけ、たるみを取ってください。

! 警 告

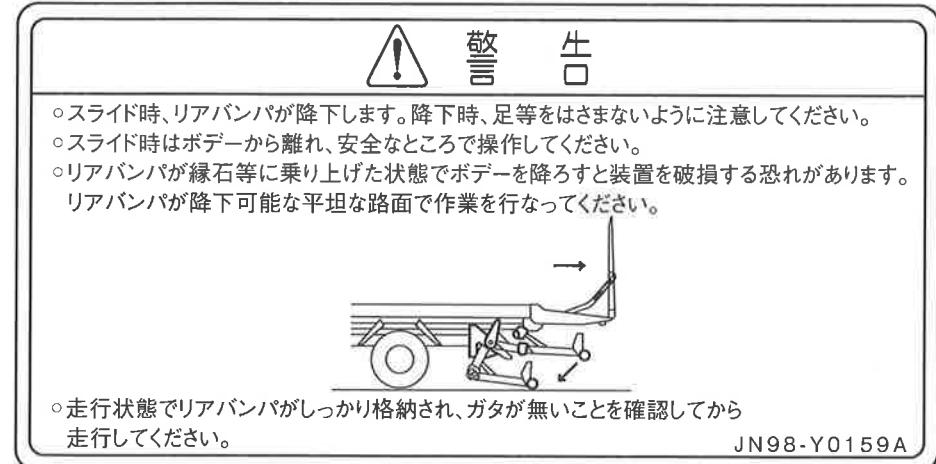
スペアタイヤを巻き上げた後及び走行前点検の際はスペアタイヤがガタ無く確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと走行中にスペアタイヤが脱落し事故につながる恐れがあります。

AR90-Y0433

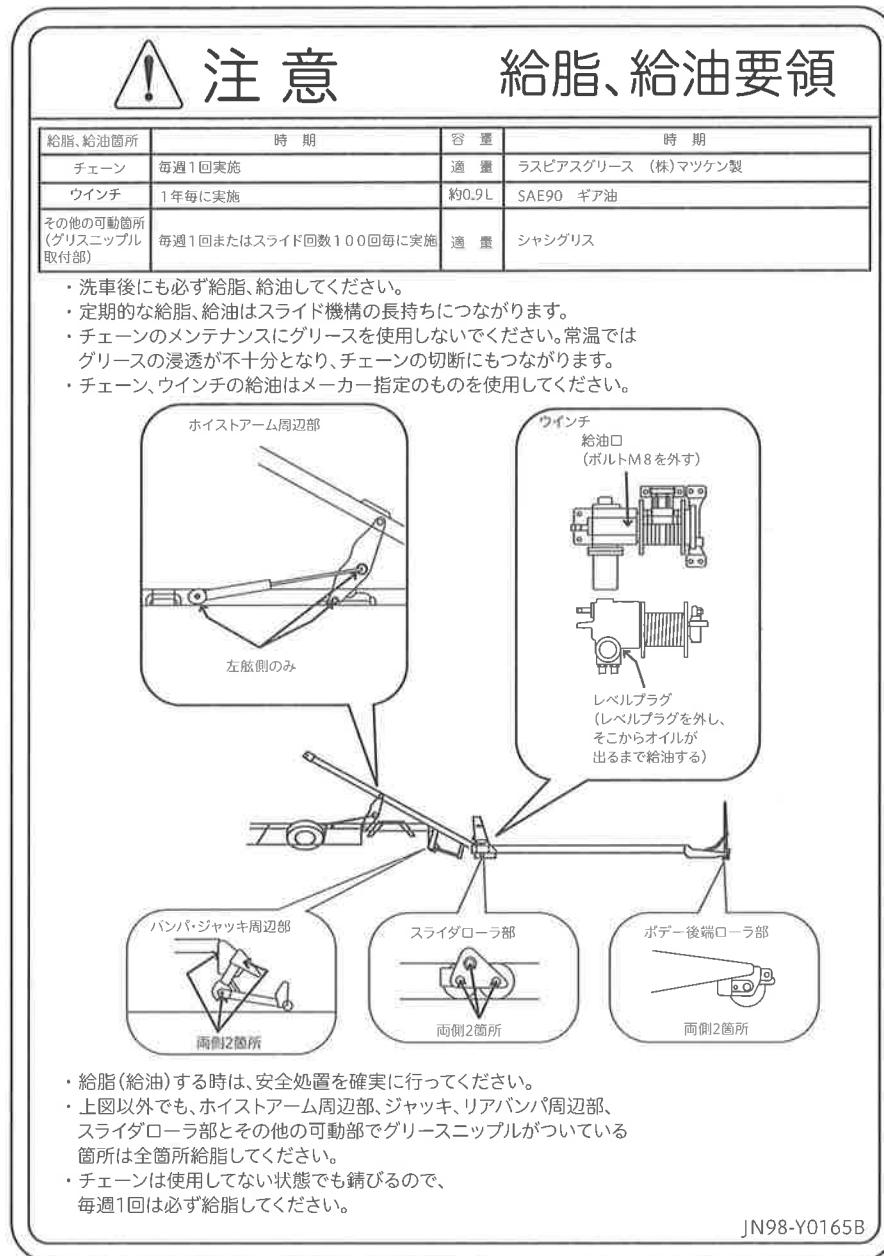
⑤ スライド操作コーションプレート



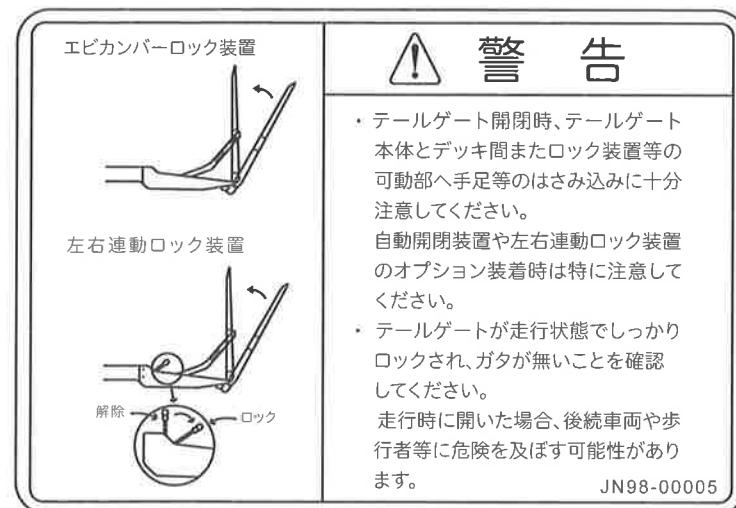
⑥ リアバンパー降下(L) (R) コーションプレート



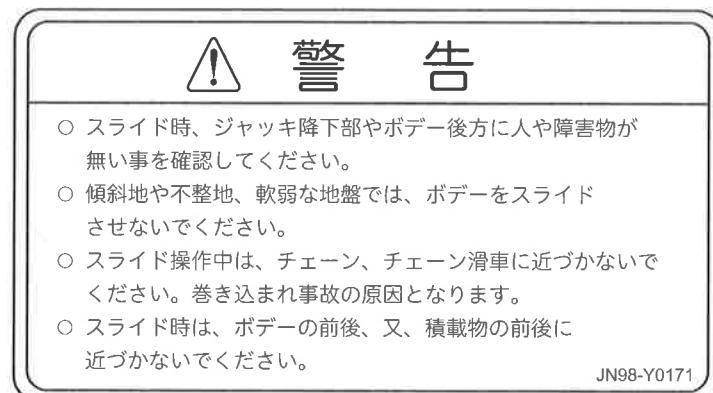
⑦ 給脂・給油コーションプレート



⑧ ロック装置コーションプレート (L) (R)



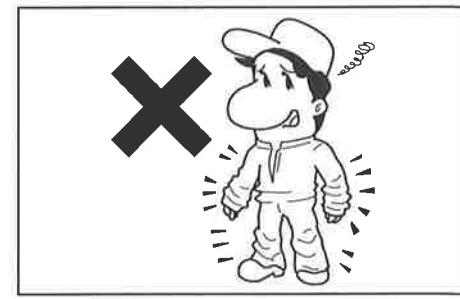
⑨ コーションプレート



■ 作業中の厳守事項

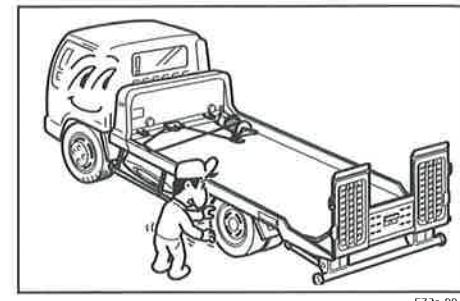
(1) 作業前の注意

- 作業のしやすい服装とし、ヘルメット、安全靴、手袋などの保護具を必ず着用してください。



- 始業(運行前)点検および定期点検(58~60ページ参照)は必ず行ってください。

異常が認められたときは、ただちに当社指定サービス工場までご連絡ください。



(2) 作業場所の注意

△ 危険

ボデーをスライドするときやウインチを操作するときは、車両の前後に人や障害物がないことを確認してください。ボデーや積載物と衝突した場合、重大な事故につながります。十分注意してください。

- 車両後方(特にリアバンパーやジャッキの下)に異物や雪溜りおよびくぼみ等の凹凸がないか確認してください。

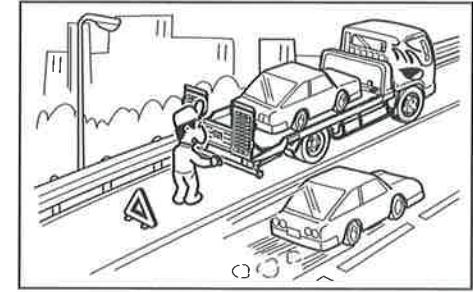


△ 危険

交通事故や車両の衝突等の重大な事故につながるおそれがありますので、人や車両の通行の妨げにならない安全な場所で作業をしてください。

- 人や車両の通行の妨げにならない安全な場所で作業をしてください。

万一、道路上で作業をする場合は、道路交通法を守り、標識・点滅灯等の保安器具を設置し、事故防止の対策を行ってください。



△ 警告

下記の注意を怠ると、スライド装置や車両に重大な悪影響をおよぼすばかりでなく、横転の原因ともなり大変危険です。必ず守ってください。

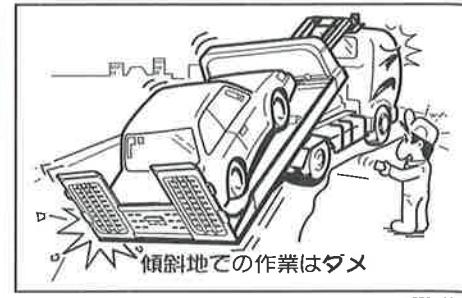
- 作業は平坦な舗装路面で行ってください。
車両のパーキングブレーキを確実に引いて作業を行ってください。



△ 注意

傾斜地や不整地でボデーをスライドさせると、横転や各部機能部品にねじれが生じ、故障の原因となります。

- 車両後方が下がっていたり上がっていたりする場所や、車両の左右に傾斜がついている場所では使用しないでください。ボデー やフレームに変形が生じ、故障の原因となります。



FZ2a-006A



FZ2a-006B



FZ2a-006C

- 不整地、軟弱地、上下段差がある地面、ボデー 後端ローラーが回転しないような地面等での作業は行わないでください。ボデー やフレームに変形が生じ、故障の原因となります。

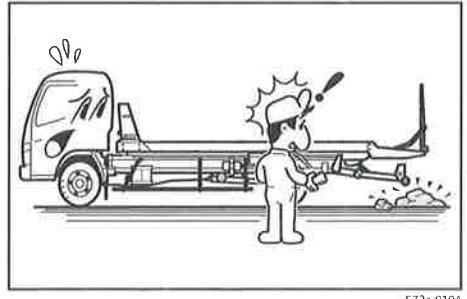


FZ2a-006D

△ 注意

車両後方に異物や雪溜りおよびくぼみ等の凹凸がない所で作業を行ってください。万一、スライド時に装置と干渉すると、ボデー やフレームに変形が生じ、故障の原因となります。

- 車両後方（特にリアバンパーやジャッキの下）に異物や雪溜りおよびくぼみ等の凹凸がないか確認してください。



FZ2a-010A

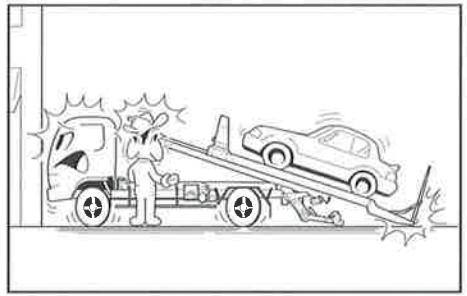
△ 注意

ボデーをスライドするときは、車両が前後に移動する場合があります。車両の前後に余裕をもたせたうえでパーキングブレーキを確実に効かせ、ハンドルを直進状態にして止めてください。

- スライド途中は車両が前後に動く場合があります。前後の余裕をもって作業をしてください。

目安：

フラットップ後方から約6 m のスペースを確保してください。

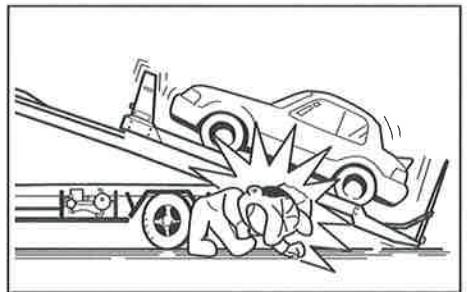


FZ2a-011A

(3) スライド作業時の注意

△ 危険

スライド時は、ボデー やフレームの下へ絶対に立ち入らないでください。特に、積載したままスライドし、途中で止めた状態で立ち入ることは大変危険です。



FZ2a-014A

⚠ 危険

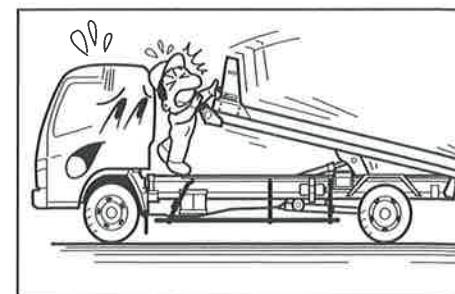
スライド中にボデーやチェーン、シリンダー、ウインチ等の可動部に近づかないでください。体や手足のはさまり事故等につながる可能性があります。

- スライド中にキャブとボディーの間に入ったり、チェーンやシリンダー、ウインチ等の可動部に手や腕を近づけたりしないでください。

⚠ 警告

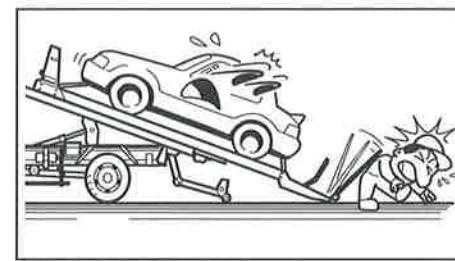
テールゲートを開閉するとき、テールゲートのロック装置や、テールゲートと荷台や地面の間に、手足をはさまないように注意してください。

テールゲート自動開閉装置付の場合、ロック解放時にテールゲートが勢いよく開くことがあります。人が近くにいないことを確認し、安全な距離を確保して作業してください。



FZ2a-015A

- 手動テールゲート開閉時は、テカケを持って作業を行ってください。
- テールゲート自動開閉装置付の場合は、テールゲートから安全な距離を確保して作業してください。

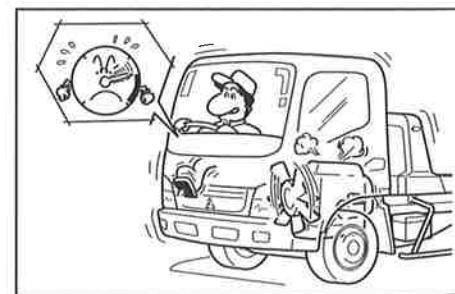


FZ2a-016A

⚠ 警告

高速回転、急激な増減速、不必要的空回転はしないでください。回転数の上げ下げによってポンプや駆動系統に無理が生じ、故障の原因となります。

- エンジン回転数は納車時に設定してある回転数のままとしてください。
運転席のアクセルレバー等で回転数を変更しないでください。



FZ2a-017A

⚠ 警告

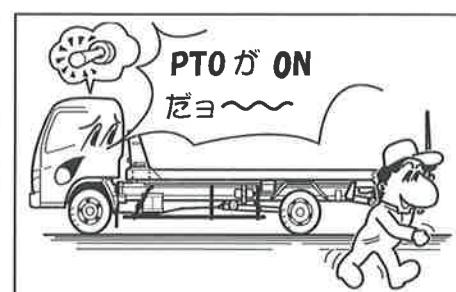
荷台をスライド作動途中で放置しないでください。荷台が自然降下した場合、おもわぬ事故につながる可能性があります。



FZ2a-019A

⚠ 警告

エンジン、PTO「ON」での10分以上の作動、放置はしないでください。作動油が高温になると、高圧ホース、パッキン等が損傷し、油漏れや噴き出し等の原因となります。



FZ2a-021A

⚠ 注意

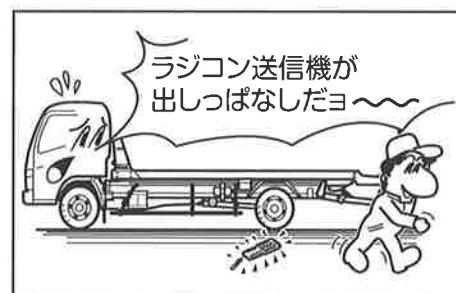
スライドするときは、必ずテールゲートを格納してから行ってください。ゲートを開いたままスライド作動すると、ゲートが引きずられ、故障の原因となります。



FZ2a-018A

⚠ 注意

ラジコン送信機やオプションのコードリモコンを放置しないでください。
作業後はラジコン送信機を運転席等へ保管し、コードリモコンはリモコンスイッチをボックス内へ収め、確実にフタを閉めてください。放置すると故障の原因となります。

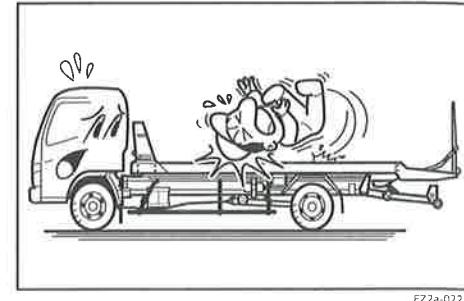


FZ2a-020A

△ 注意

スライド動作中にボデーの上に乗らないでください。また、スライド停止した状態でボデーに乗り降りする場合は、滑ないように注意してください。

- ボデーがぬれているときや夜間作業時は、スリップに注意してください。
ボデーを地面に接地させ、夜間は作業灯を点灯し、安全に作業を行ってください。
また、サイドアオリ上面の滑り止めが、はがれたり効かなくなったりした場合は、貼り直してください。



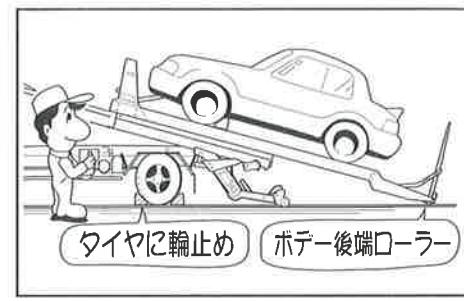
FZ2a-022A

(4) 車両積載時の注意

△ 注意

車両を積み降ろしする場合は、ボデー後端ローラーが地上に接地するまで降ろし、パーキングブレーキを確実に効かせて、タイヤに輪止めをかけてください。

- ボデー後端ローラーが地上に設置した状態であれば、どの姿勢でも乗り込み可能です。



FZ2a-023A

△ 注意

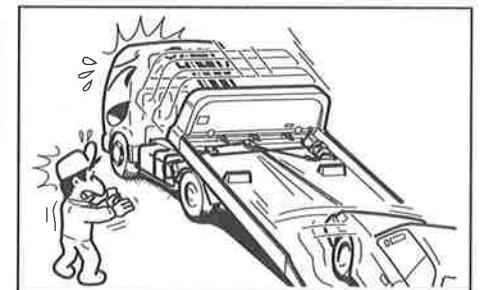
車両の積み降ろし前後にドアを開閉する場合は、テールゲートロックやボデーサイドアオリと接触しないよう、十分に注意してください。



FZ2a-024A

△ 注意**△ 注意**

車両積載途中にボデーをスライドさせないでください。ボデーやフレームに無理が生じ、故障の原因となります。



FZ2a-025A

- 車両の積み降ろしは、積み込み車両がボデーと平行な位置となるようにし、テールゲートからまっすぐに乗り込んでください。
テールゲート斜めからの乗り込みは、ボデーやフレームに変形が生じ、故障の原因となります。



FZ2a-026A

△ 注意**△ 注意**

車両を積載する際に、積載する車のフロントやリアバンパー、床裏が、フラットップ（テールゲート、デッキ面、テールゲートロック装置、サイドアオリ、デッキ面取り付けのオプション部品、または地面等）に干渉する可能性があります。十分に注意してください。



FZ2a-027A

- 車両を積載するときは、積み込み車両とボデー各部位が接触しないよう、十分に注意して乗り込んでください。特に、ボデー傾斜状態での低床車乗り込み時に接触する可能性があります。

(5) ウインチ作業時の注意

△ 危険

ウインチ作業中はスライド操作や車両の走行を行わないでください。ウインチやワイヤー、チェーン等の駆動系統に無理が生じ、故障や重大事故につながるおそれがあります。

- ウインチを使用する場合は、ボデー後端ローラーが地面に接地した状態で使用してください。
また、車載の目的以外には使用しないでください。レッカーやクレーンの代わりに使うことはできません。



FZ2a-030A

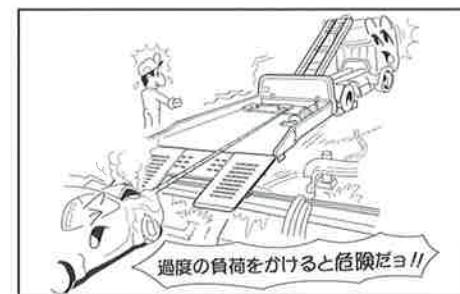


FZ2a-031A

△ 警告

走行不能の事故車や、路面に段差のある場所での車両の引き上げは、絶対に行わないでください。「フラトップ」の装置に過度の負荷がかかり、チェーン損傷、ボデー変形の可能性があります。さらにウインチワイヤーが外れる等によって、重大な事故につながるおそれがあります。

- ウインチの能力は2tです。それ以上の負荷はかけないでください。



FZ2a-029A

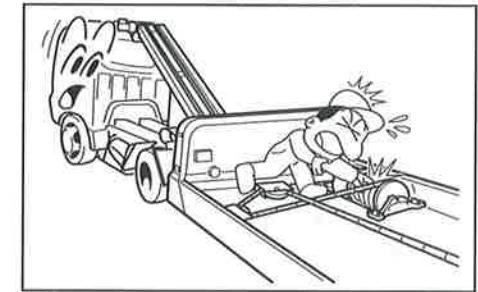
△ 警告

ウインチ操作時は、引き上げ車両の前後やウインチドラム、ウインチ滑車に手や体を近づけないでください。引き上げ車両の滑り落ちやワイヤーロープへの巻き込み等ではさると、重大な事故につながるおそれがあります。

- ウインチの運転および操作には、次の特別教育が必要です。

卷上げ機（ウインチ）の運転業務に関する特別教育
(関係法令：安衛則第36条第11号)

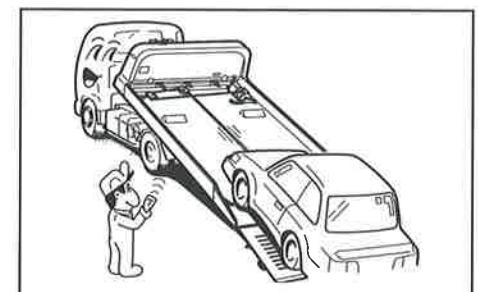
特別教育を受けた作業者が正しい取り扱いをするようにしてください。



FZ2a-032A

△ 危険

ウインチ作業をするときは、車両の前後に人や車両、障害物がないことを確認してください。ウインチワイヤーロープの折損や、ウインチワイヤーフックと積載物の固定不良等が原因で積載物が滑り落ちてくると、重大な事故につながります。



FZ2a-035A

⚠ 注意

ボデーに引き上げる車両は垂直にし、ワインチのワイヤーロープは5°以内で使用してください。また、ボデー装置以外の滑車を使ってワイヤーの向きを変えることは、絶対にしないでください。

- ウィンチで積載車両を斜めおよび横方向から引き上げることは、絶対にしないでください。

ボデー前端のワインチフックは3箇所の移動が可能です。積載車両フックの位置によって適切な位置に移動し、作業を行ってください。



⚠ 注意

ワインチ操作を行う際は、クラッチを「ON」にし、クラッチ確認ランプが点灯することを確認してください。クラッチ確認ランプが消灯した状態で操作すると、積載車脱落等の事故につながるおそれがあります。

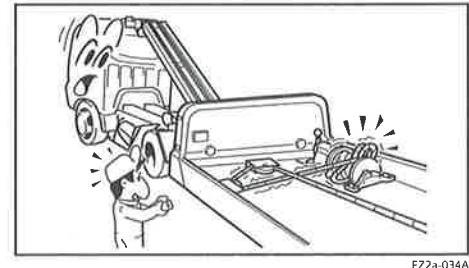
- クラッチが入るとクラッチ確認ランプが点灯します。ランプが点灯した状態で作業を行ってください。
- クラッチ確認ランプはボデースライド状態のときのみ点灯し、走行状態では点灯しません。



⚠ 注意

ワインチワイヤーのドラムへの乱巻きは、ただちに直してください。ドラムからワイヤーが脱落した場合、ワインチに無理な力が生じ、ワインチ破損の原因となります。

- 空フック（無負荷）でのワインチワイヤーの巻上げ、巻下げ時は、ワイヤーロープが乱巻きしないようにワイヤーを手で引っ張りながら操作してください。
作業後はフックを所定の位置に掛け、外れないように適度にワイヤーを張ってください。



(6) 走行時の注意

⚠ 危険

- 積載物は歯止め・荷締め機・ロープなどで確実に固定し、均等に積載してください。固縛しないで走行すると、積載物が脱落する危険があります。また、ボデー前方との間隔は十分にあけてください。万一、積荷の固定が不十分で積荷が前後に大きくゆれた場合、積荷がフロントパネルやテールゲートに衝突するおそれがあります。
- ウィンチのワイヤーロープで積載物を固定しないでください。ワイヤーロープがゆるみ、積載物が脱落する危険があります。
- 標準積み込み部品の荷締め機許容張り重量は400 kgです。許容重量以下で使用してください。
- 積載物の重心が荷台の中心に位置するように積載してください。前後や左右に積載物が片寄ると、走行安定性が著しく低下し、走行中に荷崩れ、落下、転倒等の危険があります。また、スライド作業時は荷台フレームに無理な荷重がかかり、重大な故障や事故の原因となります。



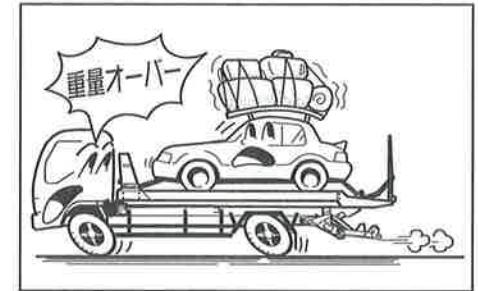
FZ2a-038A

- 積載物の重心を考慮して片側に集中的に荷重がかからないようにし、積荷はしっかりと固定してください。長距離運送時や悪路走行時は、積荷固定ロープがゆるむことがあります。こまめに点検し、締め直してください。
上記は「労働安全衛生規則第151条の10」により定められています。
「荷崩れ、または荷の落下による労働者の危険を防止するため、荷にロープまたはシートを掛けるなど必要な措置を講ずること。」(抜粋)

⚠ 警告

過積載は道路交通法により禁止されています。積荷は最大積載量以下とするよう注意してください。

また、過積載によりフラットップ装置だけではなく車両にまで無理な荷重がかかり、重大な故障や事故の原因となります。



FZ2a-037A

⚠ 注意

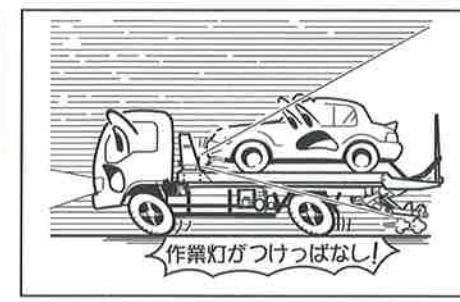
走行前には必ずボデーを格納した状態に戻し、PTOが必ず「OFF」になっていることを確認してください。「ON」のままだと、ポンプの焼き付きやトランスマッision破損の原因となります。



FZ2a-036A

⚠ 注意

走行中、作業灯は必ず消灯してください。作業中も、ほかの車両などの迷惑にならない角度にセットしてください。



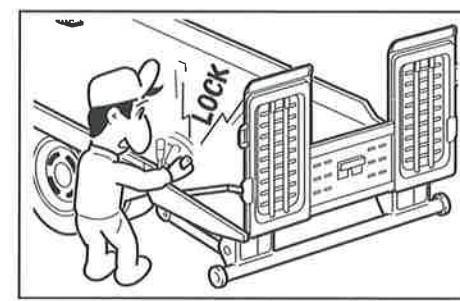
FZ2a-039A

⚠ 警告

テールゲートが走行状態でしっかりロックされ、ガタがないことを確認してください。走行時に開いた場合、後続車両や歩行者等に危険をおよぼす可能性があります。また車載専用車は、テールゲートを垂直にロックしていない状態で走行すると違法となります。



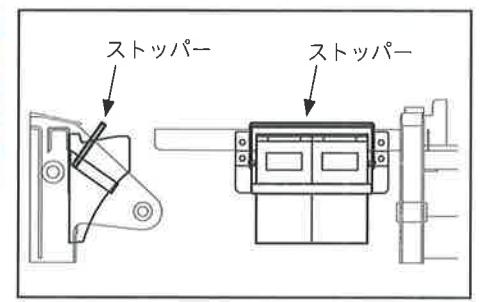
FZ2a-040A



FZ2a-041A

⚠ 警告

走行時は必ず歯止めにストッパーを掛けてください。ストッパーを掛けていない場合は歯止めが脱落し、重大な事故につながるおそれがあります。

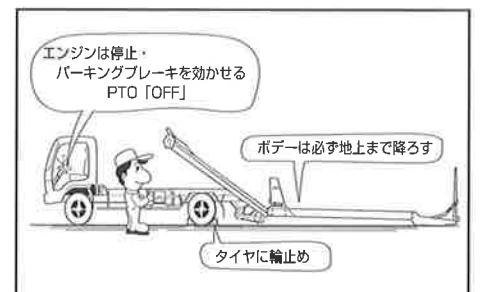


FZ2a-043A

■ 点検・整備に関する注意

点検・整備をするときは、

- ボデー後部を地上まで確実に降ろしてください。
- エンジンを停止させ、パーキングブレーキを確実に効かせ、タイヤに輪止めを掛けしてください。
- やむをえずスライド途中の姿勢でボデーの下に入る場合は、2ページの厳守事項を確実に守り、安全支柱でボデーの落下を防止してください。



FZ2a-042A

⚠ 危険

点検・整備は、55～72ページにもとづき必ず実施してください。

特に、チェーンの給油や交換を行わないとチェーンが折損する可能性があります。また、ウインチワイヤーロープに関しても、交換基準に達した場合は破断する可能性があります。万一、破断した場合、ボデーの脱落や積載物が落下するなどして重大な事故につながります。

荷台をスライドするときやウインチを操作するときは、車両の前後に人や車両が近づかないように注意してください。

■ 機能部品の取り扱いに関する注意

⚠ 警告

油圧・駆動・操作・電気(センサー・ランプ等)系統の取り外しや交換は、危険ですから行わないでください。

- * 取り外しや交換が必要な場合は、巻末に記載されている極東開発工業株式会社サービス拠点までご連絡ください。
- * フラットップに関する装置は絶対に改造しないでください。故障や事故、また保安基準等の法規違反の原因となります。

■ 高圧(スチーム)洗浄に関する注意

⚠ 注意

- 駆動用チェーン、回転部および可動部、全ての電気部品および近接スイッチについての高圧(スチーム)洗浄は行わないでください。
- 駆動用チェーンを高圧(スチーム)洗浄すると、ラスピアグリース(メーカー指定油)がなくなり、錆が発生してチェーン破損の原因となります。やむをえず洗浄した場合は必ず、給油を十分に行ってください。
- 回転部および可動部も同様に、高圧(スチーム)洗浄するとシャシングリースがなくなり、異音および早期摩耗の原因となります。やむをえず洗浄した場合は必ず、給脂を十分に行ってください。
- コントローラー、ラジコン受信機、電気カプラおよび近接スイッチ等の電気部品全てに、高圧(スチーム)洗浄を行わないでください。
部品内部に水が浸入して作動不良の原因となりますので、直接の噴射は絶対に行わないでください。
- サイドフレーム部貼付ステッカーに洗浄機のノズルを近づけ(50cm以内)、高圧(スチーム)洗浄を行わないでください。ステッカーのはがれ、破れの原因となります。

■ ラジコンに関する注意

- 改造や分解は絶対にしないでください。故障や誤動作の原因となります。
- 送信機は日常生活防水構造になっています。水の中に浸したり、丸洗いをしないでください。故障や破損の原因となります。
- 精密機器ですので、落としたり激しい衝撃を加えないでください。故障や破損の原因となります。
- ケースは樹脂製ですので、アルコール・シンナー・ガソリンなどの溶剤をかけないでください。ケースが溶けたり、割れたりすることがあります。
- 裏ケースにある通気孔をシールなどでふさがないでください。ケースが変形し、防水性が損なわれる原因となります。
- 通気孔を鋭利なもので突き刺したりしないでください。通気孔の裏に貼ってある通気用の特殊なフィルムに孔があき、防水性が損なわれる原因となります。
- 操作スイッチを鋭利なもので押さないでください。操作部に貼ってあるシートに孔や傷が付くと、防水性が損なわれる原因となります。
- 送信機を保管する際は、下記のことを守ってください。守らないと故障や破損の原因となります。
 - 長期間使用しないときは電池を取り外してください。
 - 直射日光のあたる場所には放置しないでください。
 - 直接水がかかるような場所は避けてください。
 - 高温多湿の場所は避けてください。

[電池の取り扱いに関する注意]

- 漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

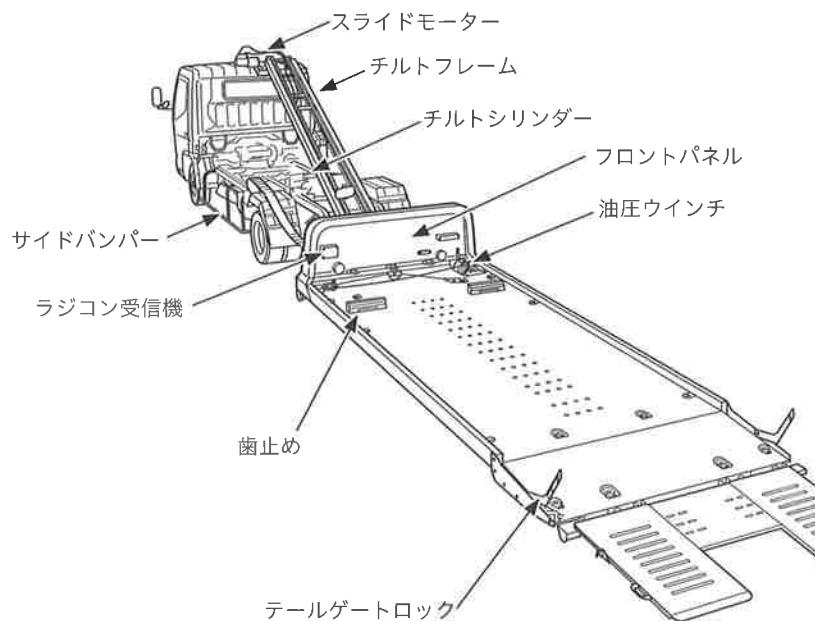
⚠ 警告

- ショートさせる、分解する、加熱する、火に入れるなどの行為はしないでください。アルカリ性溶液が漏れて目に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- 積み込んである乾電池は非充電式です。充電しないでください。
- 指定された種類の電池を使用してください。(単三形アルカリ乾電池2本)

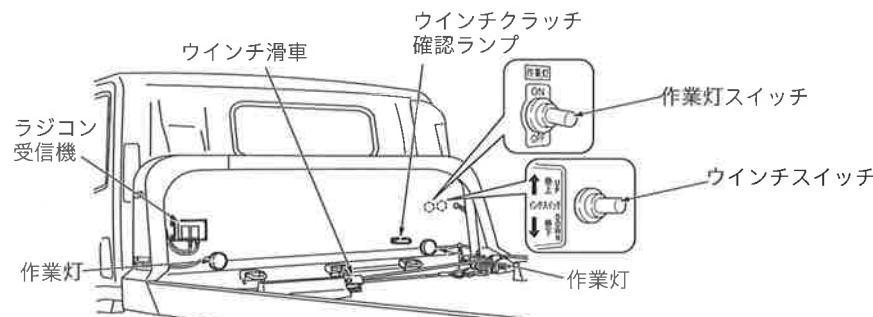
⚠ 注意

- +と-の向きを正しく入れてください。
- 電池を使い切ったときや長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

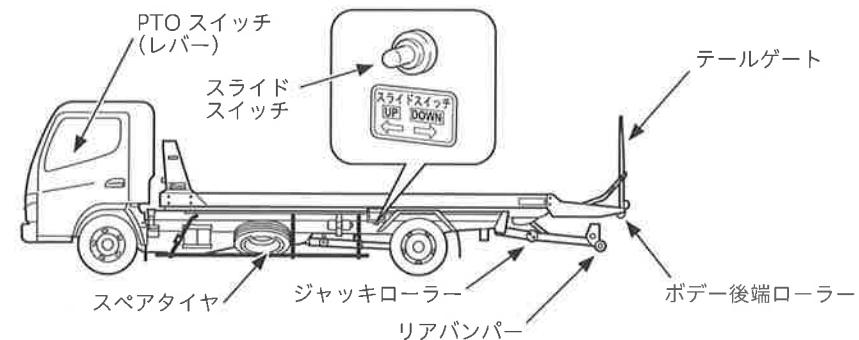
■ 各部の名称・操作スイッチの配置



FZ2d-001A

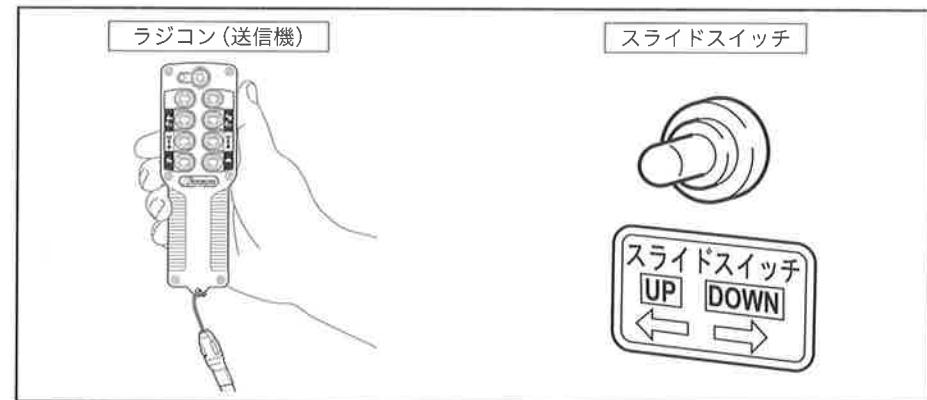


FZ2d-015A



FZ2d-016A

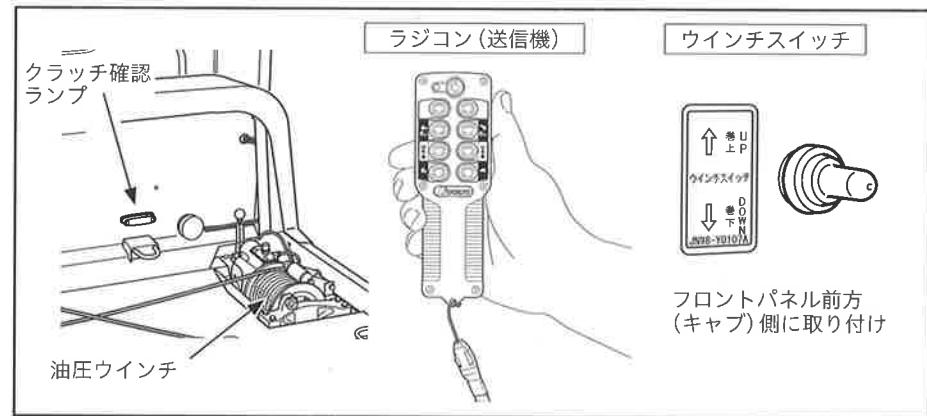
[スライド操作]



FZ2d-004B

FZ2d-016B

[ウインチ操作]

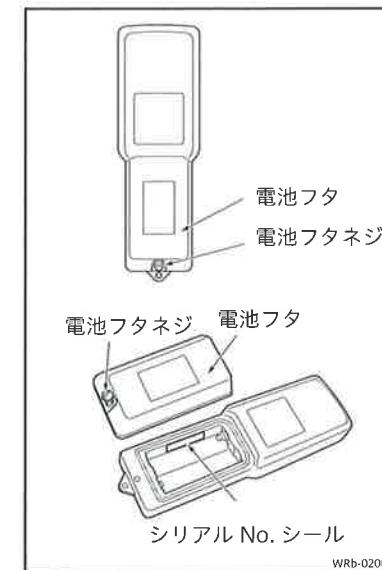
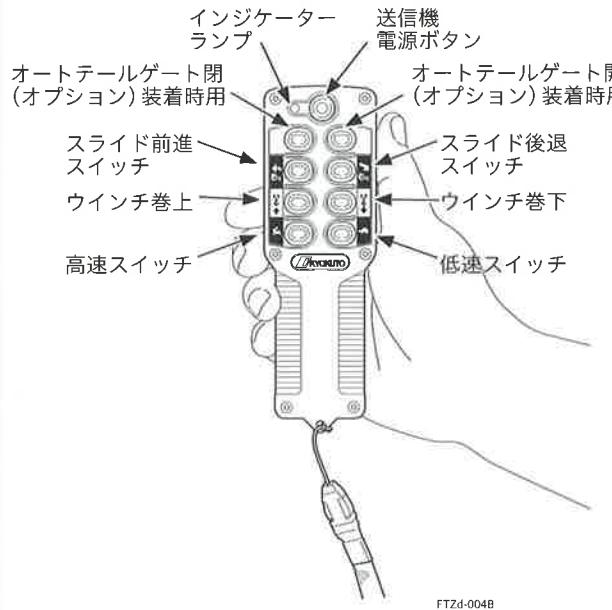


FZ2d-006A

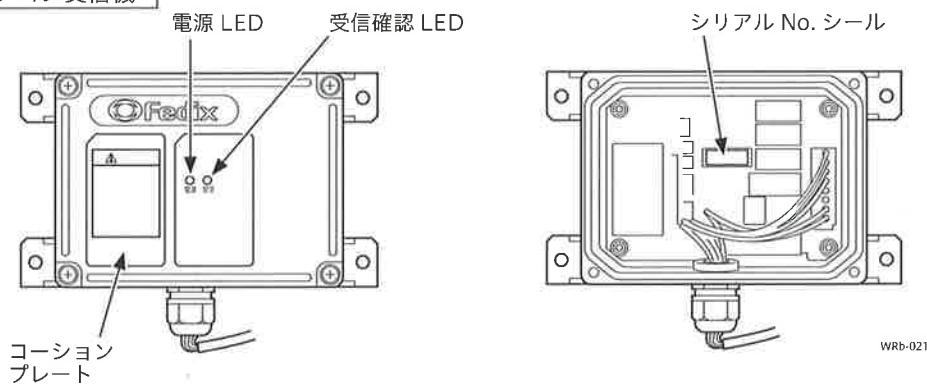
FZ2d-004B

FZ2d-007A

ラジコン送信機



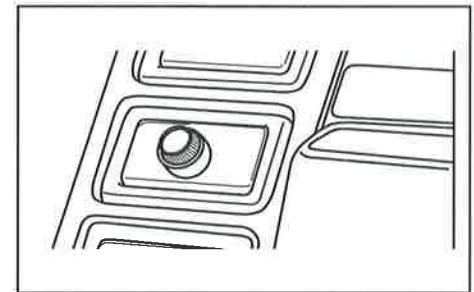
ラジコン受信機



■ ボデー格納確認装置

● キャブ内

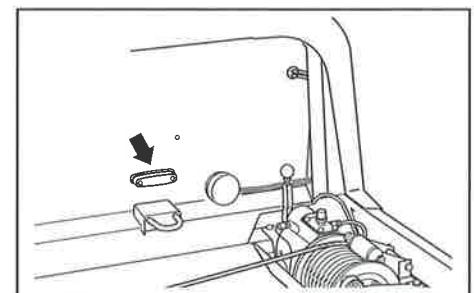
- 走行状態以外の姿勢で赤いランプが点灯します。
走行中にランプが点灯したときは、安全な場所に停車し、ボデーが格納されているか確認してください。



■ ウインチクラッチ確認ランプ

● フロントパネル

- クラッチが入るとクラッチ確認ランプが点灯します。
荷台スライド状態のときのみ点灯し、走行状態では点灯しません。



■ 装備品

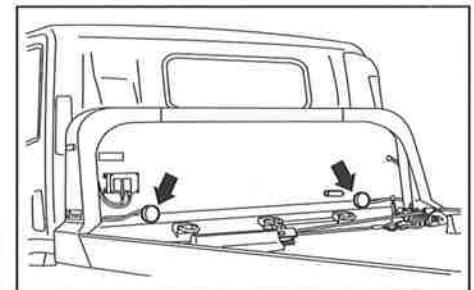
● 作業灯

- 夜間等の暗がりでの作業時に、手で必要な方向に向けてご使用ください。
スイッチはフロントパネル前面についています。



注意

走行中は消灯してください。

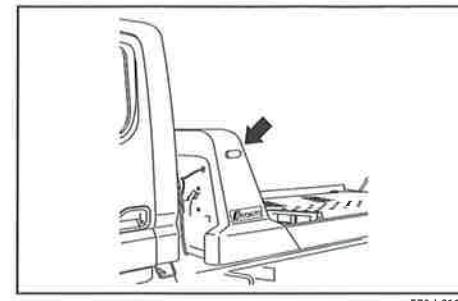


装置の説明

・ハザードランプ

夜間作業時等に後続車への注意を促すために設けています。

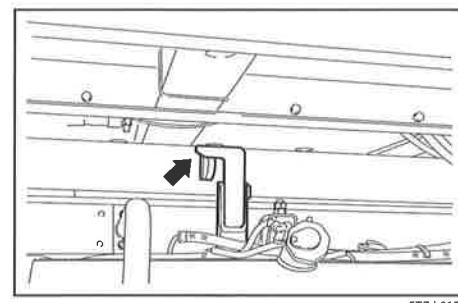
前後の方向指示器に連動して点滅します。



・ボデーロック装置

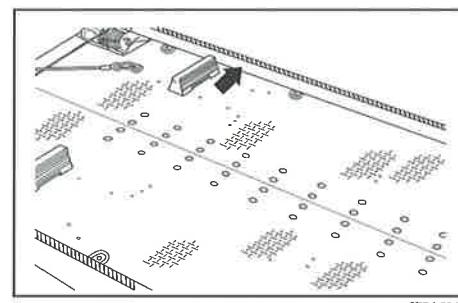
ボデーが走行状態になると、ボデー上下の跳ね上がり、左右の横ズレを強制するロック装置が入ります。

走行状態以外では正常に機能しないので、スライド途中での走行は行わないよう注意してください。



・サイドアオリ上面滑り止め

ボデー上での作業時に滑りにくくします。



■ エンジンの始動と PTO「ON」の操作

⚠ 注意

操作は作動油量を確認してから行ってください。

ボデーのスライドとウインチ操作は、平坦な舗装路面で行ってください。

- シフトレバーを「ニュートラル」の位置にしてください。

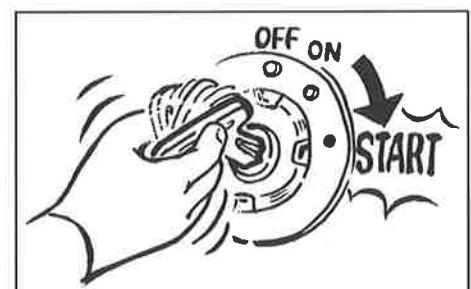


- パーキングブレーキを確実に効かせてください。

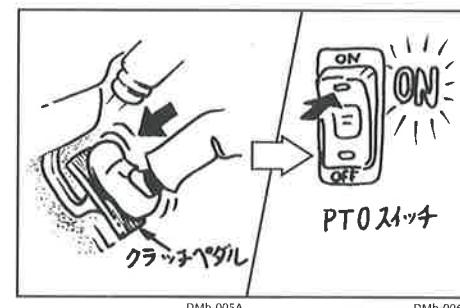


- エンジンを始動してください。

- エンジンの始動、停止についての詳細は、車両の取扱説明書に従ってください。



- ④ クラッチペダルをいっぱいに踏み込み、PTOスイッチ(レバー)を「ON」の位置にしてください。



- ⑤ クラッチペダルを徐々に離してください。

これでボデーのスライドとウインチの操作が可能となります。



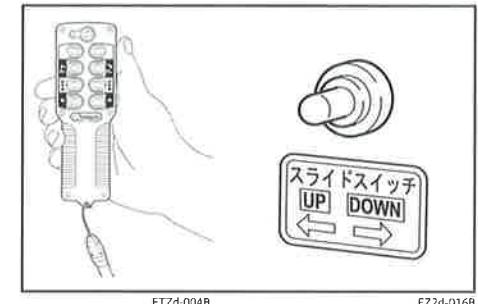
* 車種により操作方法が異なりますので、運転室内の操作要領プレートに従ってください。

■ ボデーのスライド操作

⚠ 警告

フラトップを操作する場合は、周囲(特に後方)に人や障害物がないことを必ず確認してください。

- ① スライド操作は、ラジコンまたは左舷リヤフェンダー前方部に設置してあるスライドスイッチで行います。
ラジコンでのスライド操作は37～39ページにもとづき実施してください。



FTZd-004B

FZ2d-016B

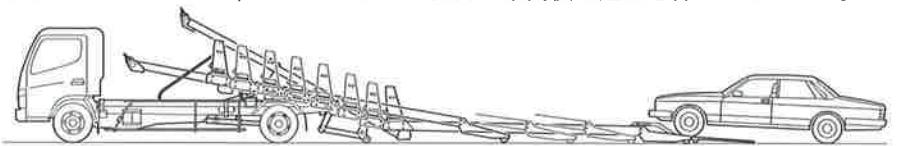
⚠ 警告

- 必ずテールゲートを格納してから、ボデーをスライドしてください。
- 車両を積み込む際は、ドアの開閉には十分に注意してください。

⚠ 注意

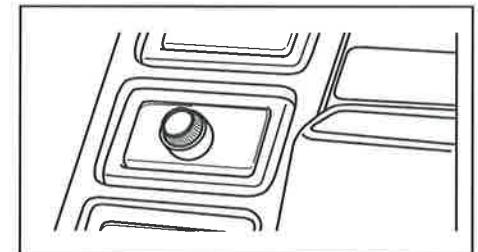
操作は必ず平坦な舗装路面で行ってください。傾斜地や軟弱な地盤でボデーをスライドさせると、車両が横転するおそれがあります。また、各機能部品にねじれが生じ、故障の原因となります。

- ② ボデー後端ローラーが地面に接地した状態から、車両の積み込みが可能となります。作業スペースに応じて、任意のスライド姿勢で車両積み込みを行ってください。



FZ2b-001A

- ③ 積み込み作業後、ボデーを前進させ、ボデーが走行状態でしっかりと止まってから、スイッチから指を離してください。
また、ボデー格納確認ランプが消灯していることを確認してください。



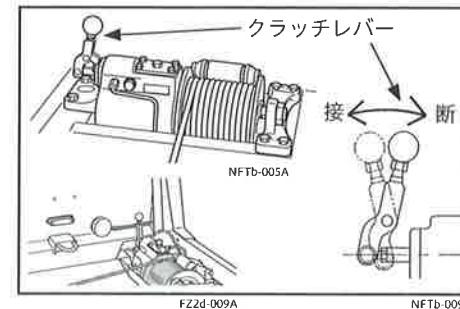
FTZd-008A

■ ウインチの操作

(1) オートクラッチ機能の説明

- オートクラッチ機能とは、クラッチが入っていない状態でワイヤーロープを巻上げたときに、自動的にクラッチが入る機構のことです。

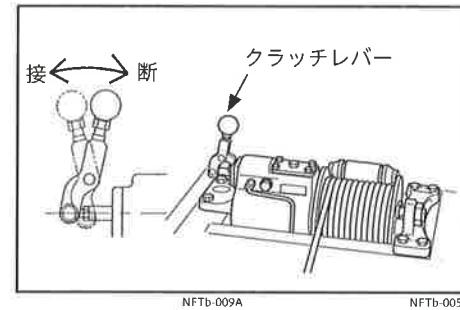
クラッチが入った場合のみ「クラッチ確認ランプ」が点灯します。



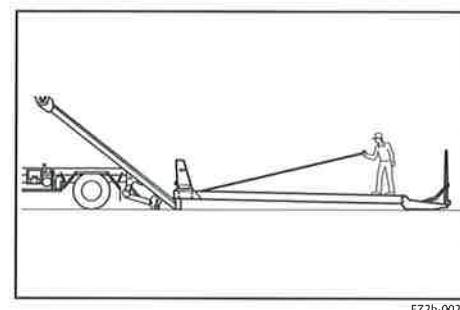
(2) 空フックの巻下げ

- ① ウインチのクラッチレバーを「断」側(右図参照)へ倒してください。

このとき「クラッチ確認ランプ」は消灯します。



- ② フックを手に持ち、ワイヤーロープを繰り出してください。



⚠ 注意

フックを手に持ち、ワイヤーロープを繰り出すときは、必ずドラムにワイヤーロープを1層以上残してください。

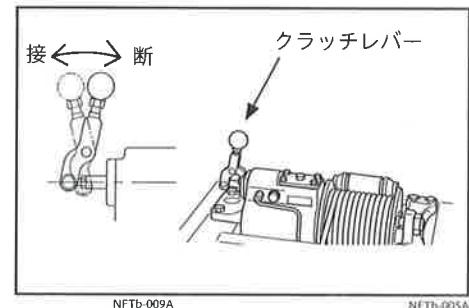
ワイヤーロープの繰り出しが手では重い場合、「荷を吊った状態の巻下げ」の要領で行ってください。このときワイヤーロープは必ず手に持ち、力を加えながら繰り出してください。

(3) 荷を吊った状態の巻上げ・巻下げ

- ① ウインチのクラッチレバーを「接」側(右図参照)へ倒してください。

このとき「クラッチ確認ランプ」が点灯します。

荷を吊った状態で巻上げ・巻下げするときは、必ず「クラッチ確認ランプ」が点灯していることを確認してから作業を行ってください。



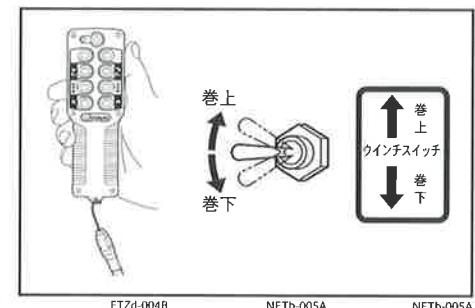
⚠ 注意

クラッチは確実にON(「接」)にしてください。

- ② ラジコンの「ウインチ巻下」を押す、または、ウインチスイッチを「巻下」側へ倒します。

⚠ 警告

荷を引き上げ状態にしてクラッチを「断」にすると、荷が急激に動く場合があり大変危険です。絶対にクラッチを「断」にしないでください。



⚠ 注意

- ワイヤーロープの乱巻きは、ただちに直してください。
- ワイヤーロープを繰り出すときは、必ずドラムにワイヤーロープを1層以上残してください。

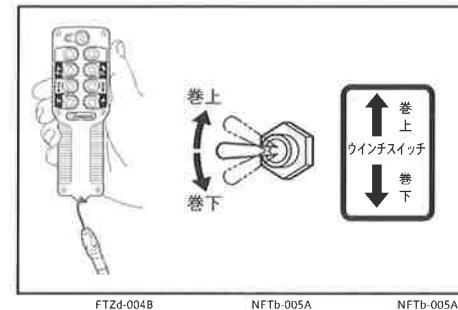
- ③ 操作後、ワイヤーをウインチで確実に巻上げてください。

(「ウインチの巻上げ操作」参照)

操作方法

[ウインチの巻上げ操作]

- ① ラジコンの「ウインチ巻上」を押す、または、
ウインチスイッチを「巻上」側へ倒します。

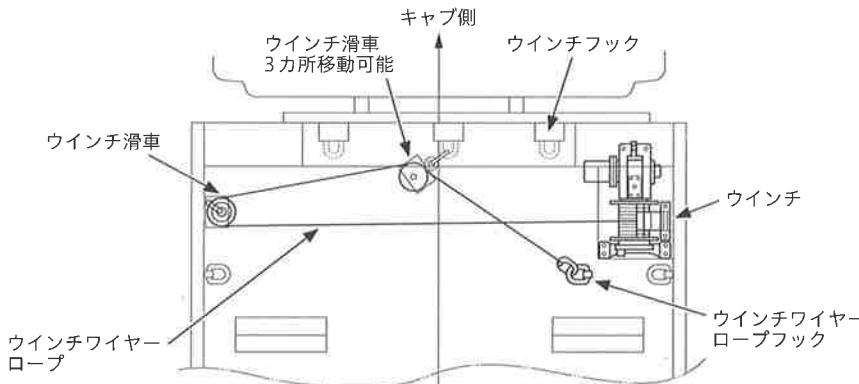


△ 注意

- 空フック（無負荷）での巻上げは、ワイヤーロープを乱巻きにすることがあります。必ずフックを手で持って、ワイヤーロープに張力を加えながら操作してください。
- ワイヤーロープの乱巻きは、ただちに直してください。また、ワイヤーロープがキンクするおそれがある場合は操作を中止し、ワイヤーロープを直してください。
- 作業終了後、ワイヤーロープのフックをウインチ横の所定の位置に掛け、フックが外れない程度の適度な張力を与えてください。

(4) ウインチワイヤーロープ配策要領

- ワイヤーロープは、必ず所定のウインチ滑車（以下「滑車」と呼ぶ）を使用して配索してください。（下図参照）下図以外のワイヤーロープの配索は、乱巻きの原因となります。
- 滑車は、必ず所定の位置のウインチフックに取り付けて使用してください。
デッキ上のウインチワイヤーロープフックに滑車を取り付けて使用しないでください。
ワイヤーロープの乱巻きや事故の原因となります。

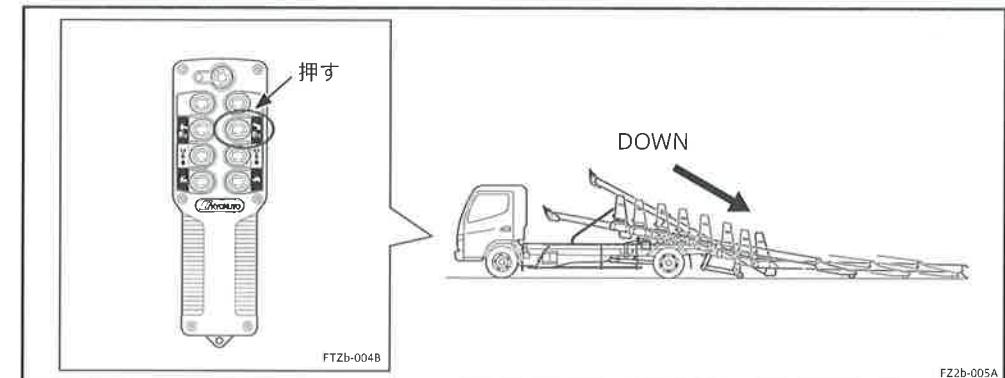


FZ2b-021A

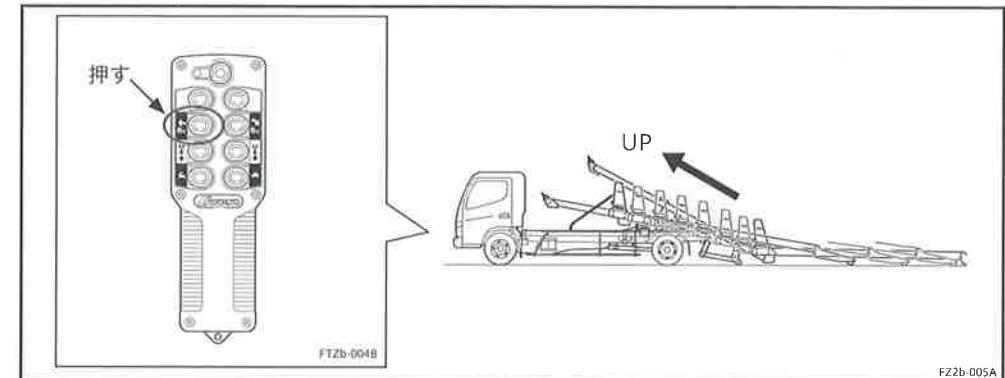
操作方法

■ ラジコン送信機・受信機の取り扱い

[スライド操作]

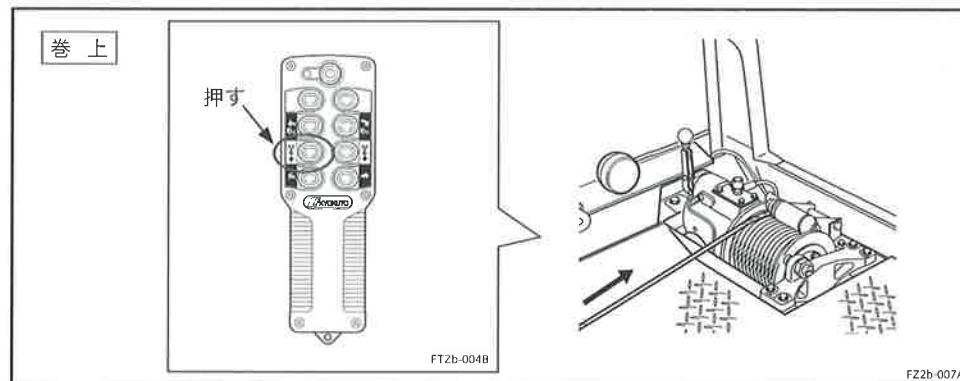
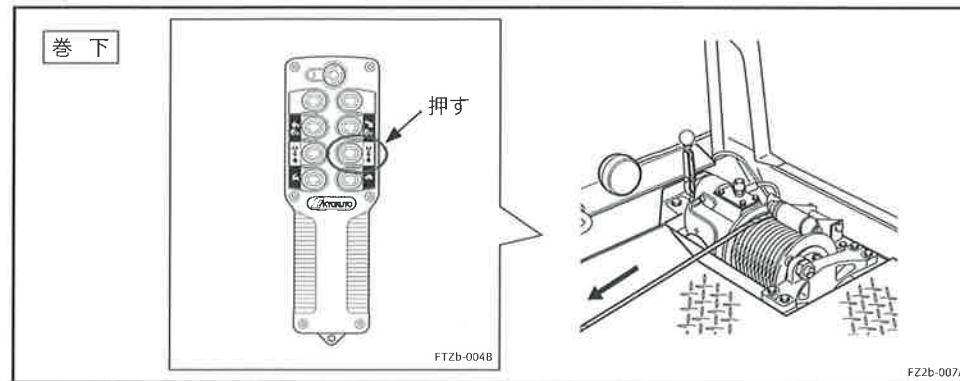


FZ2b-005A



FZ2b-005A

[ウインチ操作]

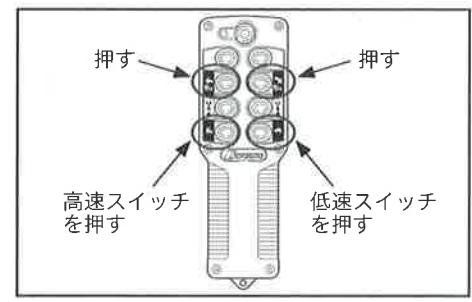


⚠ 注意

- * 送信機本体を落させないでください。
- 落下の衝撃で電波が出なくなることがあります。
- ラジコン操作では周囲の状況に気を配り、安全に十分注意してください。
- ラジコン操作は電波を使用しているため、電波障害、妨害電波、外部ノイズ等の影響を受けることがあります。影響を受けた場合は作動を停止させるように設定されています。停止した場合はラジコン受信機の近くで操作してください。

■ アイドルアップ操作

- ラジコンでの荷台のスライド操作中に高速スイッチを一度押すと、アイドルアップが作動し、荷台のスライド速度が上がります。
- 低速スイッチを押すと、アイドルアップが解除されます。



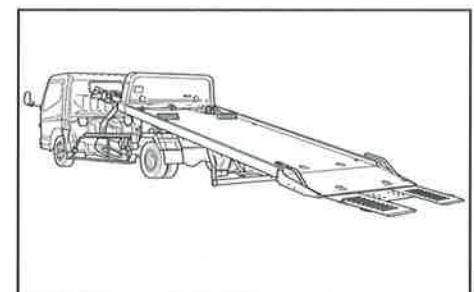
FTZb-004B

■ テールゲートロック装置の操作

(1) エビカンロック装置

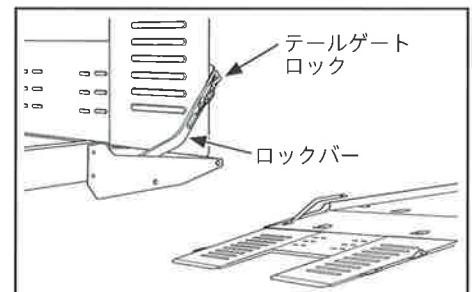


注意
ボデー後端ローラーが地面に接地した状態で、テールゲート開閉操作を行ってください。



FZ2b-009A

- ① テールゲートロックを外し、ロックバーを前方へ倒してください。
- ② 反対側も①と同様に行ってください。
車両積み込み時にロックバーと干渉しないよう注意してください。
- ③ テールゲートのテカケを持って、先端が地面に接地するまで開放してください。
- ④ 閉めるときは、①～③を逆の手順で行ってください。



FZ2b-010A

FZ2b-011A

(2) 左右連動ロック装置(オプション)

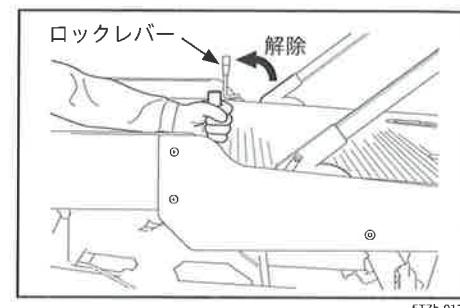
△ 注意

ボデー後端ローラーが地面に接地した状態で、テールゲート開閉操作を行ってください。

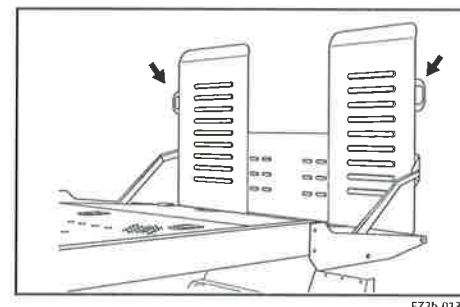
- ① ロックレバーを解除してください。
左右どちらかのレバーを操作すると連動するので、操作は片側のみで可能です。
- ② テールゲートのテカケを持ち、先端が地面に接地するまでゆっくりと開放してください。
- ③ テールゲートを閉める際、ゲートを垂直まで閉めると自動でロックがかかります。
- ④ テールゲートを閉めた後、ロックレバーがロックされていることを確認してください。

△ 警告

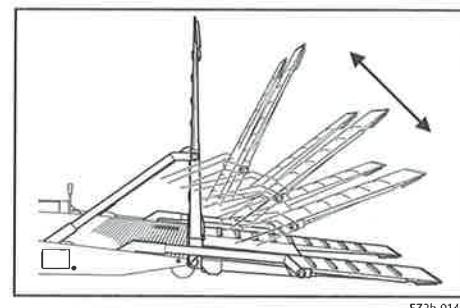
- テールゲート開閉時、テールゲート本体とデッキ間またはロック装置等の可動部へ手足等のはさみ込みに十分注意してください。
自動開閉装置や左右連動ロック装置のオプション装着時は特に注意してください。
- テールゲートが走行状態でしっかりとロックされ、ガタがないことを確認してください。
走行時に開いた場合、後続車両や歩行者等に危険をおよぼす可能性があります。
- エビカンロック装置、左右連動ロック装置(オプション)共通警告事項。



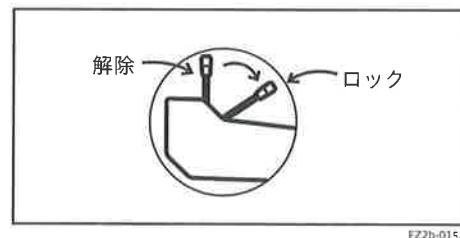
FT2b-012A



FT2b-013A



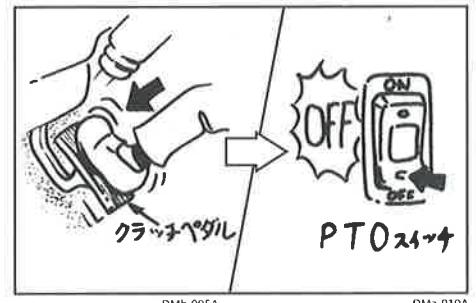
FT2b-014A



FT2b-015A

■ PTO「OFF」とエンジン停止の操作

- ① クラッチペダルをいっぱいに踏み込み、PTOスイッチ(レバー)を「OFF」位置にしてください。



DMb-005A

DMA-010A

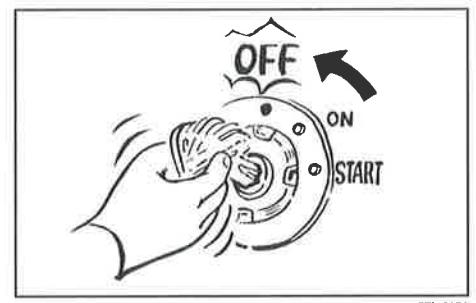
- ② クラッチペダルから徐々に足を離します。



FTb-019A

- ③ エンジンを停止させてください。

- エンジンの始動、停止についての詳細は、車両の取扱説明書に従ってください。



FTb-017A

* 車種により操作方法が異なりますので、運転室の操作要領プレートに従ってください。

■ タイヤキャリアの取り扱い

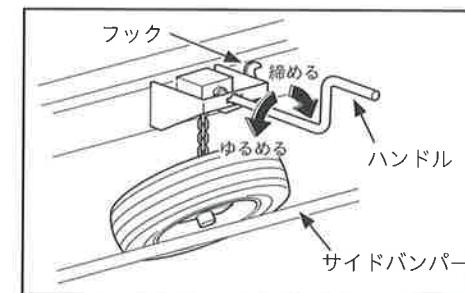
⚠ 警告

- 走行する前に、スペアタイヤが確実に締め付けられ、ガタつきやゆるみがないことを、タイヤをゆすって点検してください。
- 車によってタイヤキャリアの取り付け位置、タイヤの取り付け方法が異なる場合があります。取り扱いについてはタイヤキャリア付近にあるコーションプレートに従ってください。

—横巻上げ式—

[タイヤの外し方]

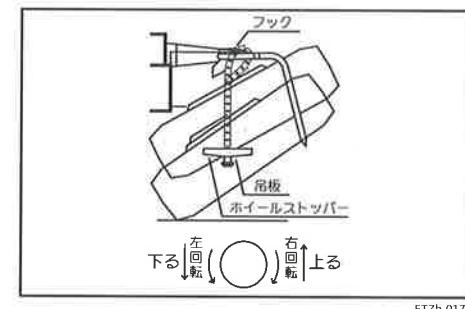
- ① チェーンをフックから外してください。
- ② シャシ装着品のハンドルを使用して、タイヤがサイドバンパーと地面につくまで巻下げてください。



FTZb-016A

[タイヤの取り付け方]

- ① スペアタイヤのディスクホイールの凸面を上にして、サイドバンパーと地面に立てかけて置いてください。
- ② 吊板とディスクホイールを正しくはめ、シャシ装着品のハンドルを使用してチェーンがねじれないように巻上げてください。締め付け後は、ハンドルを逆転せずに抜いてください。



FTZb-017A

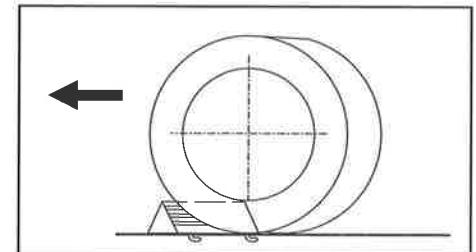
- ③ 卷上げ完了後、チェーンをフックに掛け、たるみをとってください。

* 卷上げは $29.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($3.0 \text{ kgf}\cdot\text{m}$) 以上の力で締め付けてタイヤを固定してください。
 * 締め付け後はハンドルを逆転させないでください。
 * 卷上げ後は吊板の爪がホイール内側に掛かっていることを確認してください。

■ オプションの取り扱い

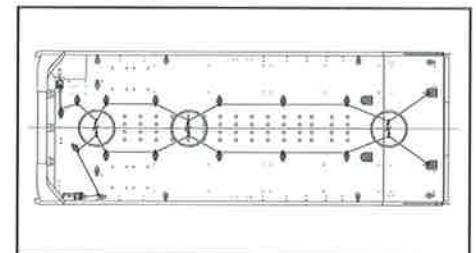
(1) ワンタッチ固縛装置

- ① フロントパネルやウインチ、ウインチフック等に積み込み車両が干渉しない位置に歯止めをセットし、歯止めに車輪があたるまで乗り込んでください。



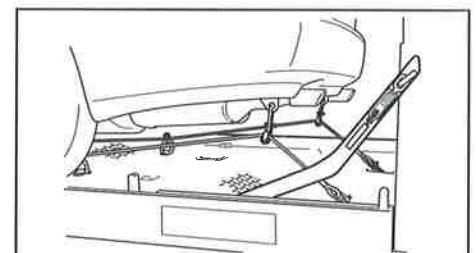
FTZb-018A

- ② ワイヤーをゆるめて、○印の6つのフックを使用して積み込み車両の牽引フックに固定してください。



FTZb-019A

* 走行時のゆるみを防止するため、4箇所以上を固定してください。



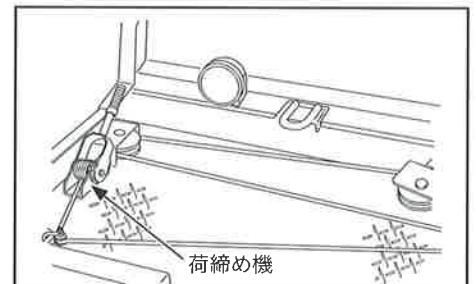
FTZb-020A

- ③ ボデー前端の荷締め機を使用し、左右両方を均等に締め付けてください。

* フックは確実に掛けてください。掛けりが浅い場合、変形や外れの原因となります。

* 荷締め機のワイヤー巻取りが乱れていると、フック変形の原因となります。

* 長距離運送時や悪路走行時は、積荷固定ロープがゆるむことがあります。こまめに点検し、締め直してください。



FTZb-021A

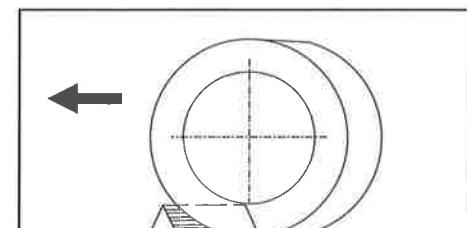
操作方法

(2) タイヤワンタッチ固縛装置

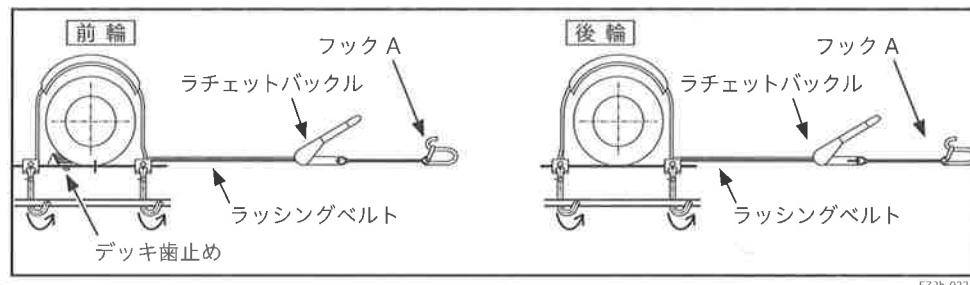
[タイヤ固縛方法]

① フロントパネルやウインチ、ウインチフック等に積載車両が干渉しない位置にデッキ歯止めをセットし、歯止めに車輪があたるまで乗り込んでください。

② タイヤラッシングベルトをセットしてください。タイヤの前後のフックは、デッキ下の丸棒へ確実に固定してください。

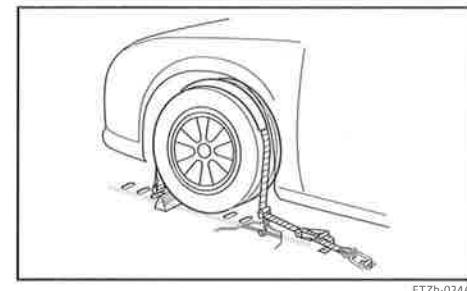


FTZb-018A



FZ2b-022A

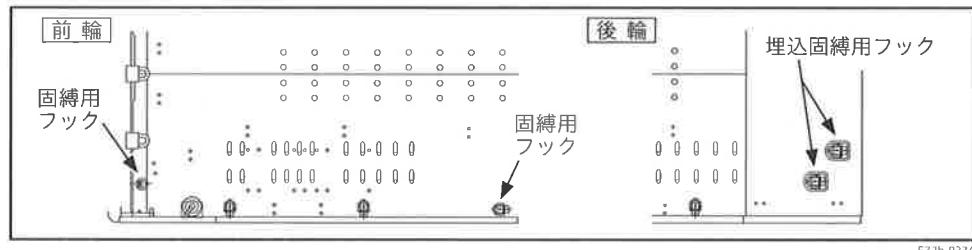
③ フック A は、下図の固縛用フックを使用して確実に固定してください。また、オプション設定により下図の位置に固縛用フックがない場合、下記位置に相当する埋込固縛用フックを使用してもかまいません。



FTZb-024A

④ ラチエットバックルを使用して、四輪とも確実に締め付けてください。

* 走行中は余ったラッシングベルトを確実に束ね、車両の外に飛び出ないように注意してください。



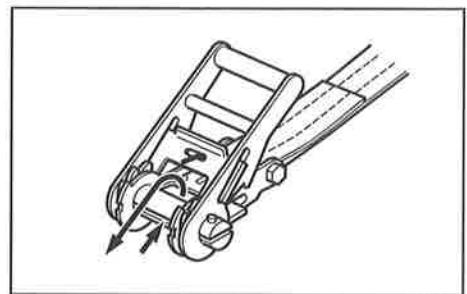
FZ2b-023A

操作方法

[ラチエットバックルの操作の仕方]

ベルトの通し方

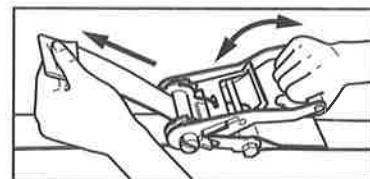
ベルトがハンドルから外れた際は、右図のようにハンドルの回転中心軸の中にベルトを通して巻きつけてください。



FTZb-025A

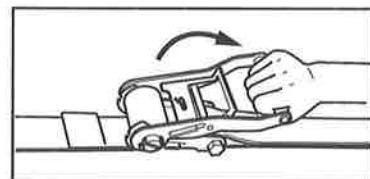
締め方

① 調節側ベルトのたるみを取り、ハンドルを反復させることによってベルトが徐々に締まります。
(ベルトは最低2回以上巻き取ってください)



FTZb-026A

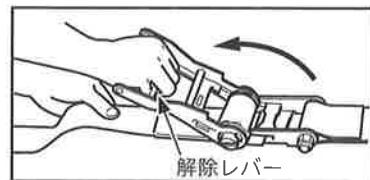
② 巻き終わったら、ハンドルを倒して固定します。



FTZb-027A

ゆるめ方

解除レバーを引きながらハンドルを180°倒すと、ロックが解除されてベルトがゆるみます。引っ張ってほどいてください。



FTZb-028A

* 長距離運送時や悪路走行時に積荷固定ロープがゆるむことがあります。こまめに点検し、締め直してください。

(3) オートテールゲート装置

ラジコンまたはオートテールゲートスイッチ（荷台サイドフレーム右側下方）によって、自動でテールゲート開閉操作が可能です。

テールゲートロックに関しては、39～40ページの操作説明に従ってください。

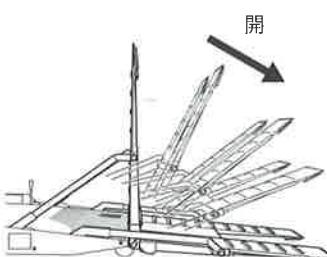
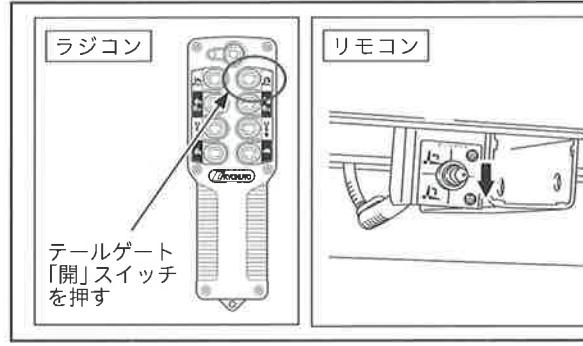


テールゲートを開閉するとき、テールゲートロック装置や、テールゲートと荷台や地面の間等に手足をはさまないように注意してください。

ロック開放時にテールゲートが勢いよく開くことがありますので、人が近くにいないことを確認し、安全な距離を確保して作業してください。

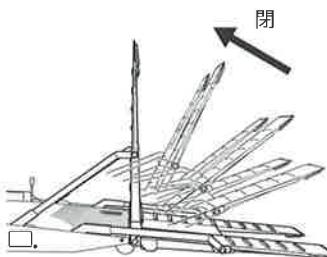
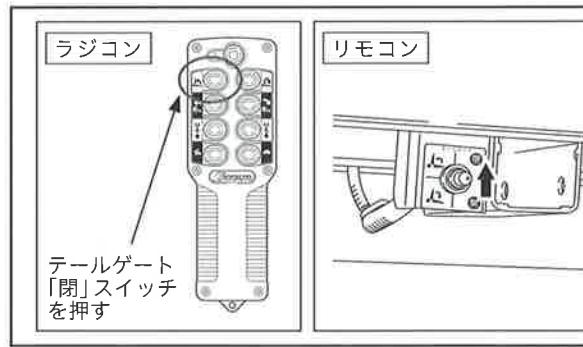
[テールゲート開操作]

テールゲートロックを解除する。

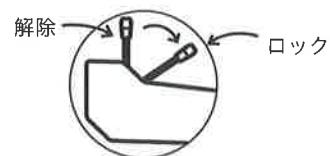


[テールゲート閉操作]

テールゲートロックにてロックする。



* テールゲートを閉めた後、ロックレバーがロックされていることを確認してください。



- テールゲート開閉時は、テールゲート本体とデッキ間またはロッド等の可動部への手足等のはさみ込みに十分注意してください。
自動開閉装置や左右連動ロック装置のオプション装着時は特に注意してください。
- テールゲートが走行状態でしっかりロックされ、ガタがないことを確認してください。
走行時に開いた場合、後続車両や歩行者等に危険をおよぼす可能性があります。

■ 車両積み込み作業

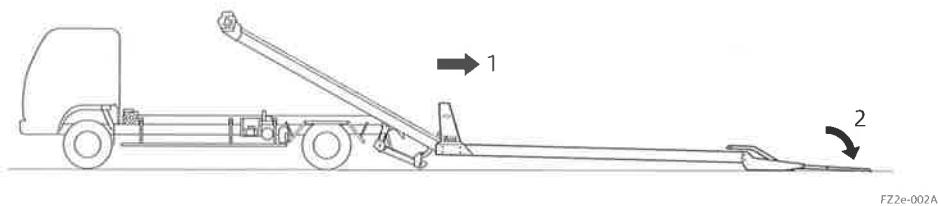
① フラットップ全長と同じ程度の距離をあけて、積載物に近づきます。



FZ2e-001A

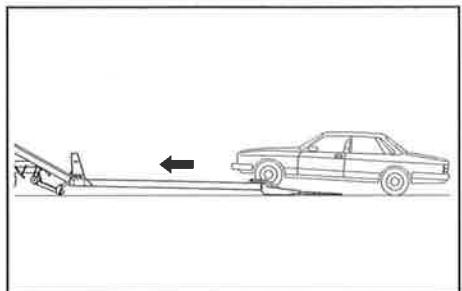
② パーキングブレーキを確実に効かせた後、PTOスイッチ(レバー)を「ON」にします。

③ ボデーを後方へスライドさせ、テールゲートを開きます。



FZ2e-002A

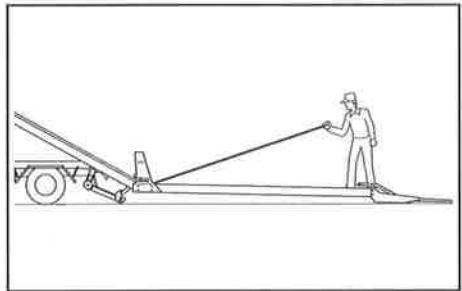
④ 積載物を自走させ、ボデー上に乗せます。



FZ2e-003A

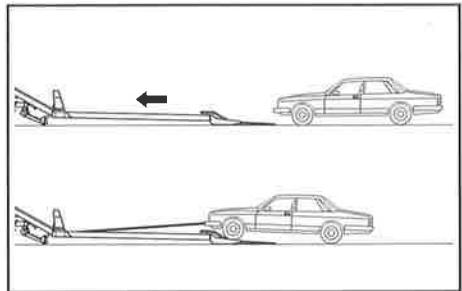
⑤ 積載物が自走できないときはウインチを使用してください。

ウインチのフックを引き出します。



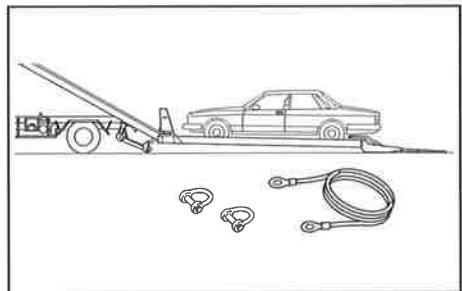
FZ2e-004A

⑥ 積載物のパーキングブレーキを解除し、ウインチのフックを掛け、ゆっくりとボデー上へ巻上げます。



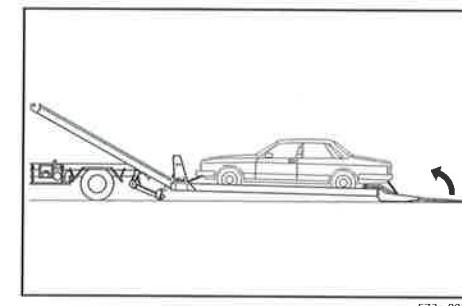
FZ2e-005A

⑦ 積載物のパーキングブレーキを効かせ、ロープなどで確実に固定します。



FZ2e-006A

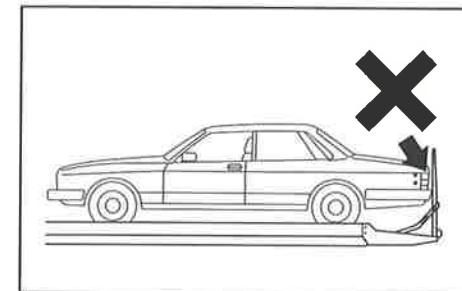
⑧ テールゲートを格納します。



FZ2e-007A

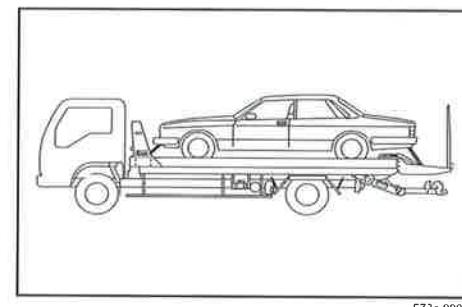
⚠ 注意

- 積み込み車両がテールゲートに干渉しないようにしてください。
- テールゲートを半開きにして走行できるのは「一般車」のみです。車載専用車では法規違反となりますので、半開きで走行しないでください。



FZ2e-009A

⑨ ボデーを前方へスライドさせ、走行姿勢にします。

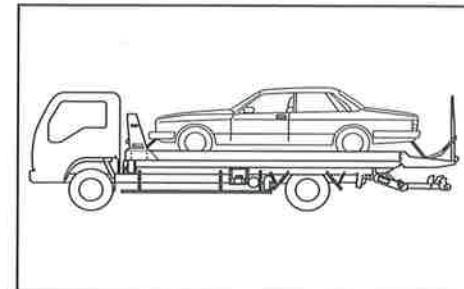


FZ2e-008A

■ 車両降ろし作業

[ワインチを使用する場合]

- フラトップを荷降ろし地に停止させます。
- パーキングブレーキを確実に効かせた後、PTOスイッチ(レバー)を「ON」にします。

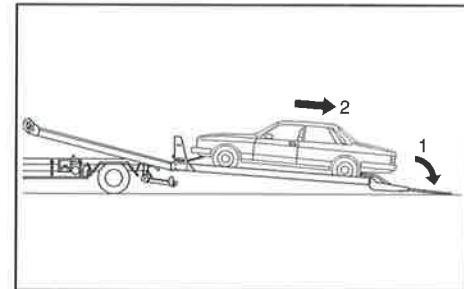


FZ2e-010A

- ボデー後端ローラーが地面に接地した状態までスライドさせ、テールゲートを開きます。テールゲートは必ず横から開いてください。その後、積載物の固定(荷締め機等)を解きます。

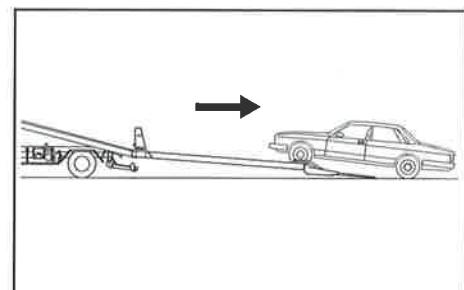
⚠ 注意

この姿勢でワインチワイヤーロープフックを解除しないでください。



FZ2e-011A

- 積載物のパーキングブレーキを解除し、後方に注意しながらワインチ巻下げ操作を行います。

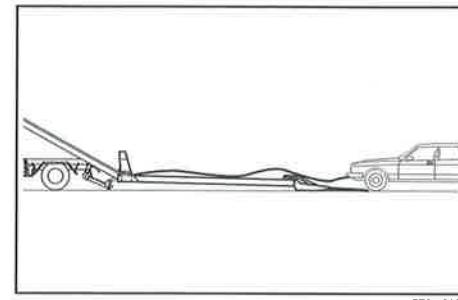


FZ2e-012A

⚠ 警告

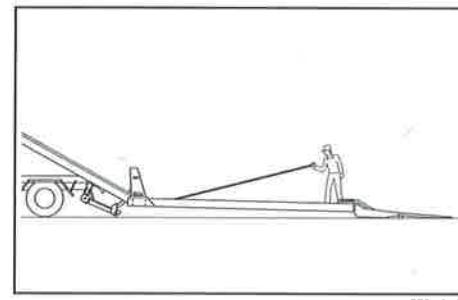
ワインチの使用はクラッチ確認ランプが点灯した状態で行ってください。クラッチ確認ランプが消灯した状態で使用すると、車載車脱落等の事故につながるおそれがあります。

- ⑤ 積載物をボデーからゆっくりと降ろし、フックを外します。



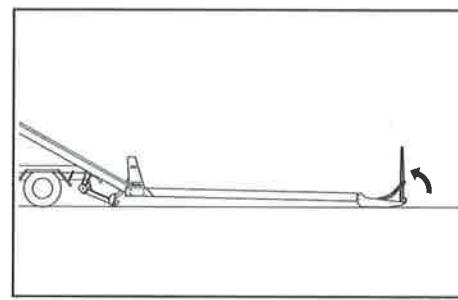
FZ2e-013A

- ⑥ ウインチ巻上げ操作をして、フックを所定の位置に格納します。



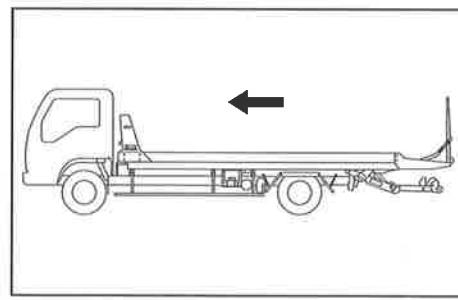
FZ2e-014A

- ⑦ テールゲートを格納します。



FZ2e-015A

- ⑧ ボデーを前方へスライドさせ、定位置に格納します。



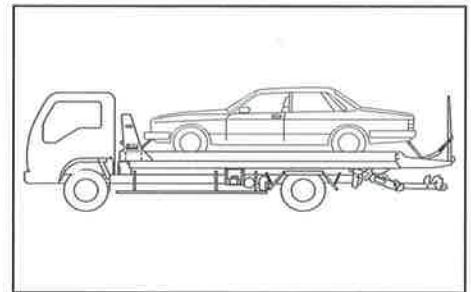
FZ2e-016A

- ⑨ PTO スイッチ(レバー)を「OFF」にします。

これで荷降ろし作業は完了です。

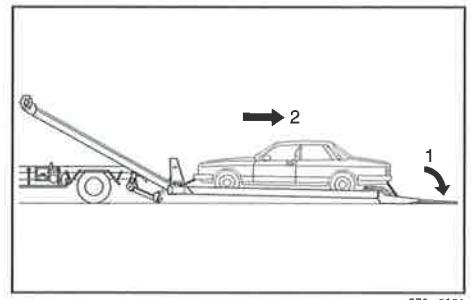
[ウインチを使用しない場合]

- ① フラットップを荷降ろし地に停止させます。



FZ2e-017A

- ② パーキングブレーキを確実に効かせた後、PTO スイッチ(レバー)を「ON」にします。
- ③ ボデーをスライドさせ、デッキ後端ローラー接地後、任意の位置でテールゲートを開きます。その後、積載物の固定を解きます。

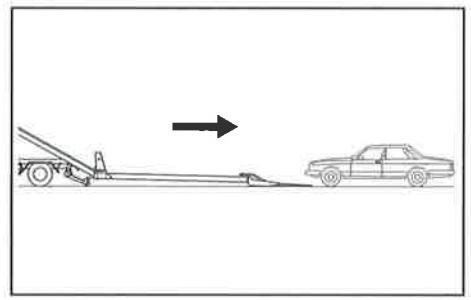


FZ2e-018A

△ 注意

荷台傾斜状態で荷降ろし作業を行う場合は、デッキ後端ローラーが接地するまでスライドさせてください。

- ④ 積載物を自走させてボデーから降ろします。

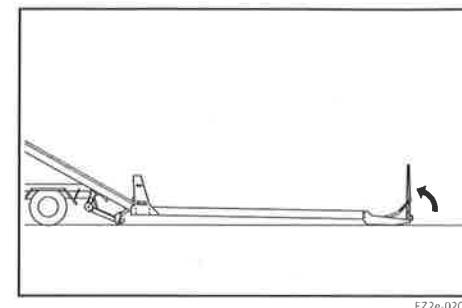


FZ2e-019A

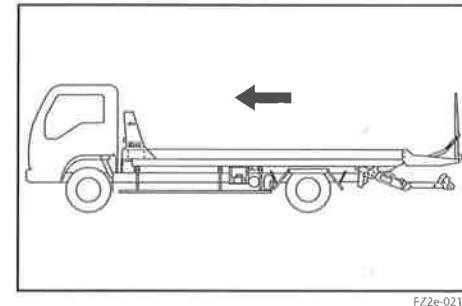
△ 注意

荷台傾斜状態で積載物を降ろす際は、積載物の滑り落ちに注意してください。

⑤ テールゲートを格納します。



⑥ ボデーを前方へスライドさせ、定位置に格納します。



⑦ PTO スイッチ(レバー)を「OFF」にします。

これで荷降ろし作業は完了です。

■ 点検

(1) 点検について

- ・ フラトップの性能を十分に発揮させ、寿命を延ばし、安全で快適にご使用いただくためには、日頃からの点検・手入れが大変重要です。
- ・ 「始業点検」「3ヵ月点検」のほかに、毎週1回の給脂を実施してください。
なお、点検項目については「始業および定期点検実施表」(58～60ページ)を参照してください。
- ・ 紙脂箇所については61～62ページを参照してください。



FZ2c-001A

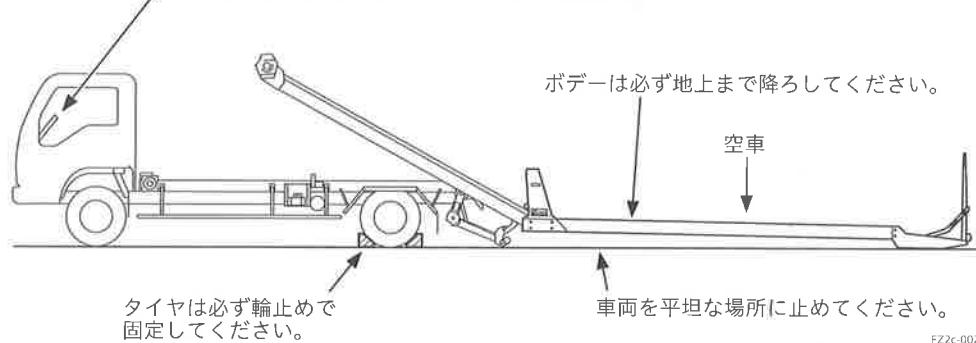
異常は早期に発見して処置することが重要です。
そのためにも日常の点検・手入れを行ってください。

(2) 点検前準備

点検、整備を行う場合は、危険を避けるために下記事項を必ず守ってください。

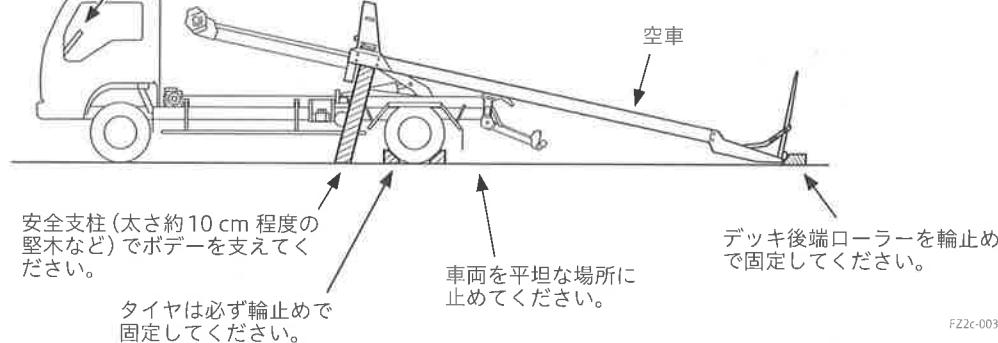
- ボデーは地上まで降ろしてください。

エンジンを停止状態にしてください。
パーキングブレーキを確実に効かせてください。
PTO スイッチ(レバー)は「OFF」にしてください。



- やむをえずボデーの下に入る場合は、下記の事項を守ってください。

エンジンを停止状態にしてください。
パーキングブレーキを確実に効かせてください。
PTO スイッチ(レバー)は「OFF」にしてください。



(3) 日常(運行前)点検

- 日常(運行前)点検は、道路運送車両法(第47条の2)により運転者に義務づけられています。
- 点検項目は「定期点検実施表」(58~60ページ)に記載しています。
ただし、フラットップ以外の項目については車両メーカーの「日常(運行前)および定期点検表」をご覧ください。
- 点検、整備を行う場合は、危険を避けるため、点検前準備に記載してある事項(56ページ)を必ず守ってください。

(4) 定期点検

- 定期点検は、道路運送車両法(第48条)により運転者に義務づけられています。
- 点検項目は「定期点検実施表」(58~60ページ)に記載しています。

(5) 始業(運行前)点検および定期点検実施表

- 始業点検：仕事にかかる前に必ず点検してください。
- 定期点検：点検時期ごとに点検してください。また、整備を必要とするときは、卷末に記載されている極東開発工業株式会社サービス拠点にお申し付けください。
- 給脂、給油：毎週1回、さらに洗車後も、必ず給脂、給油してください。

お願い

異常または故障についてのご連絡の際は、プロダクションNo. プレートの
1. 架装形式 2. 製造番号 を必ずお知らせください。

保守・点検

始業および定期点検実施表

点検項目		始業点検	定期点検 3か月 1年 2年	点検方法	判定基準	処置方法
点検箇所	点検内容					
駆動関係	ドライブシャフトの振れ (ドライブシャフト仕様の場合のみ)	○	回転時に目視	振れ無きこと	修正または交換	
	ユニバーサルジョイントのガタ	○	停止時に手で握る	異常なガタ無きこと	交換	
	スライド回転方向のガタ	○	停止時に手で握る	異常なガタ無きこと	交換	
	フランジヨーク取付ボルトのゆるみ	○	停止時に手で握る	ゆるみ無きこと	増し締め	
油圧関係	ギアポンプ	○ ○	回転時に聞き取り	異音無きこと	原因追及のうえ対処	
	ポンプ出力軸とフランジヨークのゆるみ	○	停止時にフランジを前後に握る	ゆるみ無きこと	増し締め	
	ポンプ取付ボルトのゆるみ	○	停止時にポンプを握る	ゆるみ無きこと	増し締め	
	油漏れ、にじみ	○	停止時に目視	油漏れ、にじみ無きこと	Oリング交換、増し締め	
バルブ類 ・マルチコントロールバルブ ・カウンターパンスマルチバルブ ・オートターン切替バルブ (オプション装着時)	異音	○ ○	作動時に聞き取り	異音無きこと	原因追及のうえ対処	
	バルブ取付ボルトのゆるみ	○	停止時に握る	ゆるみ無きこと	増し締め	
	油漏れ、にじみ	○	停止時に目視	油漏れ、にじみ無きこと	原因追及のうえシール交換等の対処	
	シリンダー ・チルトシリンダー ・オートターンシリンダー	○ ○	作動時に聞き取り	異音無きこと	原因追及のうえ対処	
モーター ・スライドモーター、減速機 ・ワインチャモーター	作動時のしゃくり	○ ○	作動時に目視	しゃくり無きこと	原因追及のうえ対処	
	油漏れ、にじみ	○	停止時に目視	油漏れ、にじみ無きこと	原因追及のうえシール交換等の対処	
	シリンダーロッドの傷、変形	○	停止時に目視	傷、変形無きこと	交換	
	自然降下	○	負荷を掛けた作動途中で停止し保持にて確認	著しい自然降下無きこと	原因追及のうえ対処	
モーター ・スライドモーター、減速機 ・ワインチャモーター	異音	○ ○	作動時に聞き取り	異音無きこと	原因追及のうえ対処	
	作動時のしゃくり	○ ○	作動時に目視	しゃくり無きこと	原因追及のうえ対処	
	油漏れ、にじみ	○	停止時に目視	油漏れ、にじみ無きこと	原因追及のうえシール交換等の対処	
	潤滑油	○				
油圧配管系統	取付ボルトのゆるみ	○	停止時に握る	ゆるみ無きこと	増し締め	
	自然降下	○	負荷を掛けた作動途中で停止し保持にて確認	著しい自然降下無きこと	原因追及のうえ対処	
	油圧ホースの外傷、ヒビ割れ	○ ○	停止時に目視 2年ごとに交換	油圧ホースの外傷、ヒビ割れ無きこと	交換	
	油圧ホース、配管の油漏れ、にじみ	○	停止時に目視	油漏れ、にじみ無きこと	原因追及のうえシール交換等の対処	
油圧配管系統	油圧継手部のゆるみ	○	停止時に握る	ゆるみ無きこと	増し締め	
	油圧ホース固定部のゆるみ	○	停止時に握る	ゆるみ無きこと	増し締め	
	作動油	○ ○	作動油レベル確認、 1年ごとに交換	減りが顕著な場合は油漏れ箇所を特定 減りが顕著な場合は油漏れ箇所を特定	交換	
	フィルター	○	1年ごとに交換	—	交換	

＊新車時または分解整備後

3ヵ月またはスライド回数500回

以降

1年ごとまたはスライド回数2,000回

保守・点検

点検項目		始業点検 3か月	定期点検 1年 2年	点検方法	判定基準	処置方法
点検箇所	点検内容					
電気関係	スイッチ ・スライドスイッチ ・ウインチスイッチ ・作業灯スイッチ ・コード付リモコンスイッチ (オプション装着時)	スイッチの作動具合	○ ○	スイッチ作動	正常に作動すること 固着、無反応無きこと	交換
	損傷、ねじのゆるみ	○		停止時に触診	損傷、ゆるみ無きこと	交換、増し締め
	コードの損傷	○		停止時に目視	損傷無きこと	交換
	近接スイッチ	近接スイッチの作動具合	○ ○	作動時にスムーズな動きか目視	異常作動または不動無きこと	交換
近接スイッチ	スイッチ本体の損傷、変形	○		停止時に目視	損傷、変形無きこと	交換
	検知ランプの点灯	○		停止時に目視、鉄片近づけて点灯目視	正常に点灯すること	交換
	コードの損傷、変形、干渉	○		停止時に目視	損傷、変形、干渉無きこと	交換
	取付ボルトのゆるみ	○		停止時に増し締め確認	ゆるみ無きこと	位置調整、増し締め
	コントローラー・ラジコン受信機	コントローラー・ラジコン受信機の作動具合	○ ○	作動時にスムーズな動きか目視	異常作動または不動無きこと	交換
	検知ランプの点灯	○		作動中に点灯状態を目視で確認	正常に点灯すること	交換
配線	コードの損傷、変形、干渉	○		停止時に目視	損傷、変形、干渉無きこと	交換
	取付ボルトのゆるみ	○		停止時に増し締め確認	ゆるみ無きこと	位置調整、増し締め
	内部の防水性、腐食	○		内部に水分、錆が無いか目視	内部に水分、錆が無きこと	交換
	配線の損傷、干渉	○		停止時に目視、触診	損傷、干渉無きこと	修正交換
ランプ ・ハザードランプ (フロントパネル部) ・テールランプ ・作業灯 ・クラッチ確認ランプ ・ボディ格納確認ランプ ・マーカーランプ (オプション装着時)	コネクター、ターミナルのゆるみ	○		停止時に目視、触診	ゆるみ無きこと	修正交換
	配線の腐食	○		停止時に目視、触診	配線腐食、青銅無きこと	修正交換
	ランプの点灯	○ ○		停止および動作時に目視	所定動作でランプ点灯・消灯・点滅のこと	交換
構造関係	ランプの損傷、変形	○		停止時に目視	損傷、変形無きこと	交換
	取付ボルトのゆるみ	○		停止時に増し締め確認	ゆるみ無きこと	位置調整、増し締め
	コードの損傷、変形、干渉	○		停止時に目視	損傷、変形、干渉無きこと	交換
	スライド時の異音の有無	○ ○		作動時に聞き取り	異音無きこと	給脂または原因追及のうえ対処
ボデー	各部外傷、亀裂、変形の有無	○		停止時に目視	外傷、亀裂、変形無きこと	修正または交換
	ヒンジ部のガタ	○		停止時に握る	異常なガタ無きこと	ブッシュ、シャフトの交換
ガードフレーム	外傷、亀裂、変形の有無	○		停止時に目視	外傷、亀裂、変形無きこと	修正または交換
	取付ボルトのゆるみ	○		停止時に増し締め確認	ゆるみ無きこと	位置調整、増し締め
テールゲート	外傷、亀裂、変形の有無	○		停止時に目視	外傷、亀裂、変形無きこと	修正または交換
	取付ボルトのゆるみ	○		停止時に増し締め確認	ゆるみ無きこと	位置調整、増し締め
テールゲートロック	ロックのかかり具合の確認	○		ロック時のガタ	異常なガタ無きこと	交換
	外傷、亀裂、変形の有無	○		停止時に目視	外傷、亀裂、変形無きこと	修正または交換
サブフレーム、チルトフレーム	スライド時の異音の有無	○ ○		作動時に聞き取り	異音無きこと	給脂または原因追及のうえ対処
	各部外傷、亀裂、変形の有無	○		停止時に目視	外傷、亀裂、変形無きこと	修正または交換
	ヒンジ部のガタ	○		停止時に握る	異常なガタ無きこと	ブッシュ、シャフトの交換
	固定ボルトのゆるみ	○		停止時に握る	ゆるみ無きこと	増し締め
ホイスト装置	スライド時の異音の有無	○ ○		作動時に聞き取り	異音無きこと	給脂または原因追及のうえ対処
	各部外傷、亀裂、変形の有無	○		停止時に目視	外傷、亀裂、変形無きこと	修正または交換
	ヒンジ部のガタ	○		停止時に握る	異常なガタ無きこと	ブッシュ、シャフトの交換

保守・点検

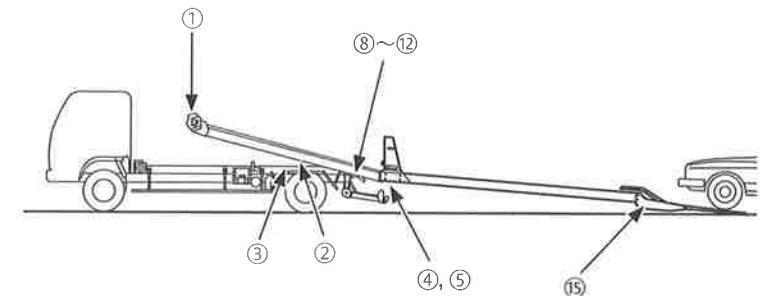
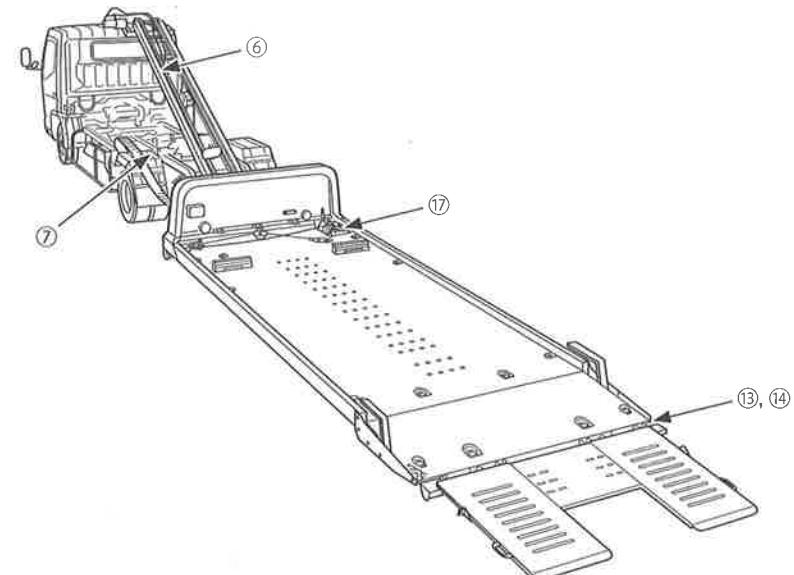
点検項目		定期点検 始業 点検 3か月 1年 2年	点検方法	判定基準	処置方法
点検箇所	点検内容				
構造関係	スライダー装置 スライド時の異音の有無	○ ○	作動時に聞き取り	異音無きこと	給脂または原因追及のうえ対処
	各部外傷,亀裂,変形の有無	○ ○	停止時に目視	外傷,亀裂,変形無きこと	修正または交換
	ヒンジ部のガタ	○ ○	停止時に揺する	異常なガタ無きこと	ブッシュ,シャフトの交換
スライド駆動装置	スライド時の異音の有無	○ ○ ○	作動時に聞き取り	異音無きこと	給脂または原因追及のうえ対処
	各部外傷,亀裂,変形の有無	○ ○ ○	停止時に目視	外傷,亀裂,変形無きこと	修正または交換
	駆動軸部,ヒンジ部のガタ	○ ○ ○	停止時に揺する	異常なガタ無きこと	ブッシュ,シャフトの交換
	チェーンの作動不良	○ ○ ○	作動時に目視	異常なゆるみ,固着無きこと	チェーンの調整,交換
	チェーンの伸び,変形,摩耗	○ ○ ○	停止時に目視 2年ごとに交換	チェーンの伸び, 変形,摩耗が無きこと	交換
	チェーンの汚れ	○ ○ ○	停止時に目視	チェーンに砂や金属粉など付着無きこと	洗浄
	チェーンの錆,固着	○ ○ ○	停止時に目視	チェーンの錆,固着が無きこと	交換
	ジャッキ,リアバンパー	○ ○ ○	作動時に聞き取り	異音無きこと	給脂または原因追及のうえ対処
ジャッキ,リアバンパー	各部外傷,亀裂,変形の有無	○ ○ ○	停止時に目視	外傷,亀裂,変形無きこと	修正または交換
	ヒンジ部のガタ	○ ○ ○	停止時に揺する	異常なガタ無きこと	ブッシュ,シャフトの交換
	走行時のガタ	○ ○ ○	走行状態で揺する	異常なガタ無きこと	調整ボルトの調整,ブッシュ,シャフトの交換
	ウインチ	○ ○ ○	作動時に聞き取り	異音無きこと	給脂または原因追及のうえ対処
ウインチ	各部外傷,亀裂,変形の有無	○ ○ ○	停止時に目視	外傷,亀裂,変形無きこと	修正または交換
	ウインチドラムのガタ	○ ○ ○	停止時に揺する	異常なガタ無きこと	軸受シャフトの交換
	取付ボルトのゆるみ	○ ○ ○	停止時に増し締め確認	ゆるみ無きこと	増し締め
	油漏れ,にじみ	○ ○ ○	停止時に目視	油漏れ,にじみ無きこと	原因追及のうえシール交換等の対処
	潤滑油	○ ○ ○			
	ワイヤーロープの異常	○ ○ ○	停止時に目視	ワイヤーロープの交換 基準に沿って判定	交換
各部鉄製ローラー部品	スライド時の異音の有無	○ ○ ○	作動時に聞き取り	異音無きこと	給脂または原因追及のうえ対処
	各部外傷,亀裂,変形,摩耗の有無	○ ○ ○	停止時に目視	外傷,亀裂,変形,摩耗無きこと	修正または交換
	ヒンジ部のガタ	○ ○ ○	停止時に揺する	異常なガタ無きこと	ブッシュ,シャフトの交換
各部摺動部	ヒンジ部のガタ	○ ○ ○	停止時に揺する	異常なガタ無きこと	ブッシュ,シャフトの交換
	各部樹脂,ゴム部品	○ ○ ○	作動時に聞き取り	異音無きこと	給脂交換
各部樹脂,ゴム部品	摩耗,損傷の有無	○ ○ ○	停止時に目視	部品としての機能を果たしていること	交換
	スペアタイヤキャリア	○ ○ ○	停止時に揺する	ガタ無きこと	操作ハンドルにて規定トルクで巻上げ
その他,艤装部品	タイヤのガタの有無	○ ○ ○	停止時に揺する	ガタ無きこと	操作ハンドルにて規定トルクで巻上げ
	スペアタイヤキャリアのガタの有無	○ ○ ○	停止時に揺する	ガタ無きこと	取付ボルト増し締め
	各部外傷,亀裂,変形の有無	○ ○ ○	停止時に目視	外傷,亀裂,変形無きこと	交換
その他,艤装部品	各部外傷,亀裂,変形の有無	○ ○ ○	停止時に目視	外傷,亀裂,変形無きこと	修正または交換
	取付ボルトのゆるみ	○ ○ ○	停止時に揺する	ゆるみ無きこと	増し締め
コーションプレート	文字の判読確認	○ ○ ○	停止時に目視	文字が判読できること	交換

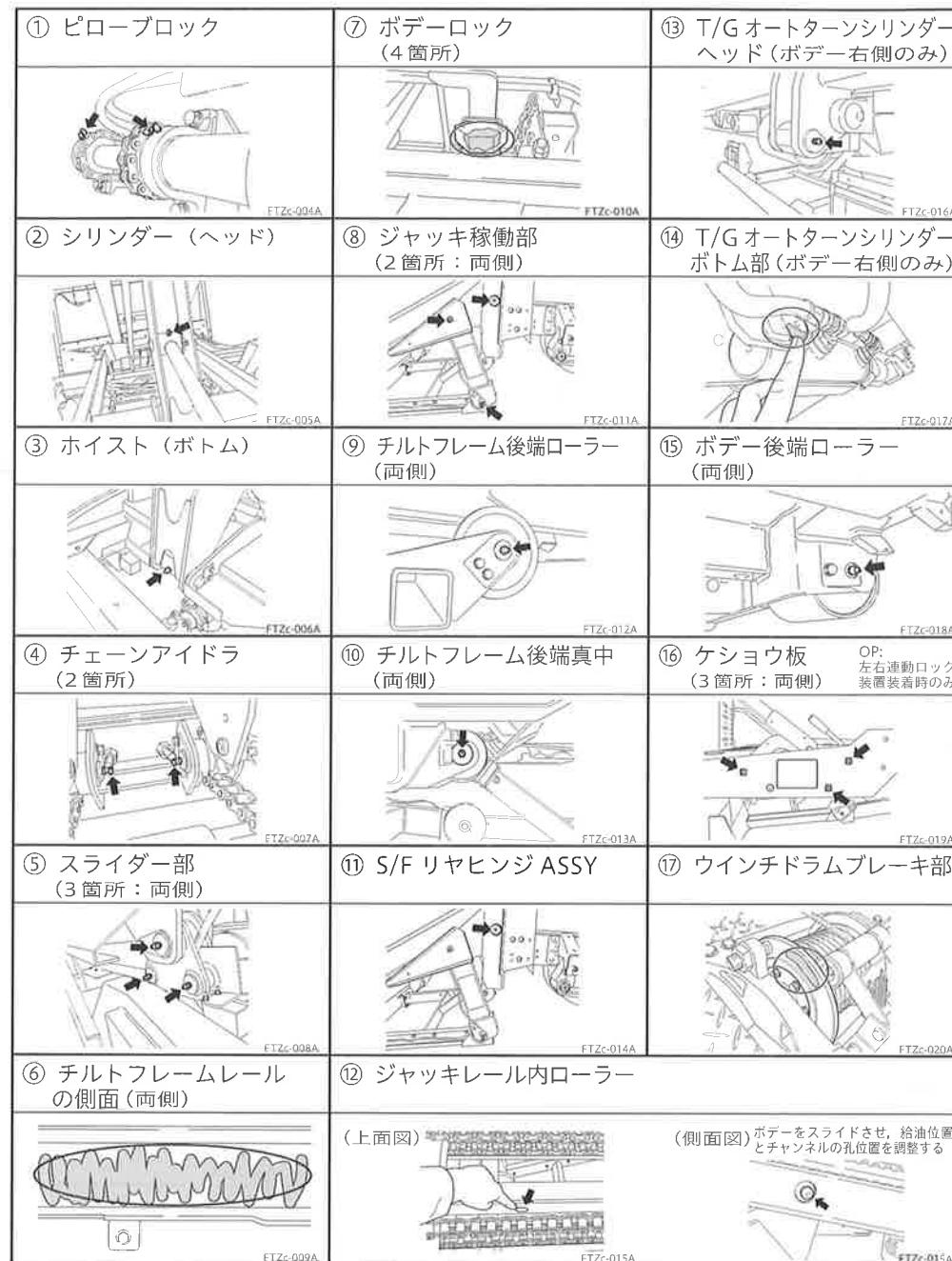
保守・点検

■ 給脂

給脂頻度	給脂量	種類
毎週1回またはスライド回数100回ごとに実施	適量	シャシグリース

- 洗車後も必ず給脂してください。
- 定期的な給脂はフラットップ装置の長持ちにつながります。





■ 給油

(1) 作動油

[交換]

時期	容量	種類	粘度
新車時または分解整備後 3カ月またはスライド回数500回 以降 1年ごとまたはスライド回数2,000回	約4L オイルタンク内のオイルを交換	耐摩耗性 油圧作動油	通常 : ISOVG 32 または ISOVG 46 寒冷時 : ISOVG 22 または ISOVG 15

オイルタンクに次回交換時期を記したプレートが貼ってあります。交換時期になりましたら、速やかに交換するようにしてください。

作動油を交換する際は、最寄りの極東開発工業株式会社サービス拠点までお申し付けください。

- 定期的な作動油の交換はスライド機構の長持ちにつながります。
- 作動油交換時、タンク内を洗浄して古い作動油やゴミを除去してください。

[補給]

次のような現象が起こった場合は作動油が不足しています。作動油を補給してください。

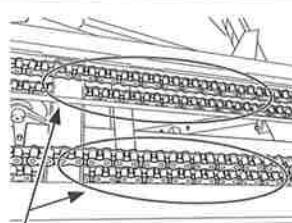
- オイルポンプから「ギヤー」というような大きな異音がする。
- ボデーが途中までしかスライドしない。
- ボデーがスライド中にしゃくる。

* 作動油の補給をする場合は、安全性を十分に考慮したうえで、次の手順に従って作業をすすめてください。

- 本書のボデーのスライド操作手順に従い、ボデーを地面まで降ろしてください。
- オイルタンクのレベルプラグを外し、そこから作動油が出るまで、注油口から作動油を補給してください。
- レベルプラグと注油口プラグを完全に締め付けます。
これで補給は完了です。

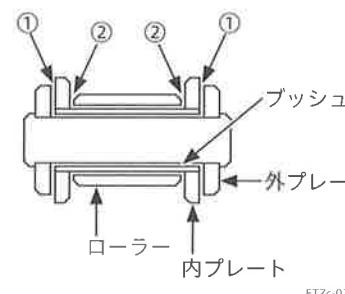


(2) チェーン潤滑油

給油箇所	給油頻度	給油量	種類
 チェーン全リンク部 FTZc-024A	毎週1回	チェーン内部まで 浸透する程度 (適量)	フラトップ指定グリース ラスピアグリース (株)マツケン製

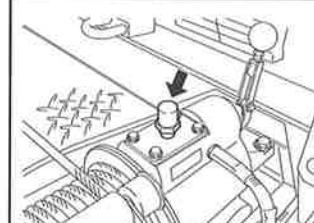
[チェーンローラー断面図]

給油箇所
 ① 内プレートと外プレート間
 (チェーンの伸びの防止)
 ② ブッシュとローラー間
 (ブッシュ・ローラーの摩耗と
 破損防止、異音の低減)

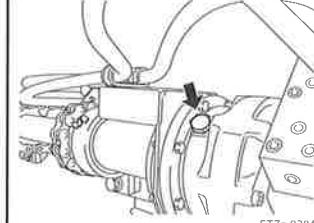


- 洗車後も必ず給油してください。
- 定期的な給脂、給油はスライド機構の長持ちにつながります。
- チェーンのメンテナンスにシャシグリースを使用しないでください。常温ではグリースの浸透が不十分となり、チェーンの切断につながります。
- チェーン、ワインチの給油はメーカー指定のものを使用してください。
- チェーンは使用していない状態でも錆びるので、毎週1回、必ず給油してください。

(3) ウインチ減速機潤滑油

給油箇所	給油頻度	給油量	種類
 FTZc-026A	1年ごとに実施	下図のレベルプラグを外し、 油が出るまで給油する。 目安：900 cc	SAE 90 ギア油

(4) スライドモーター減速機潤滑油

給油箇所	給油頻度	給油量	種類
 FTZc-028A	1年ごとに実施	目安：200 cc	SAE 90 ギア油

■ 交換部品

(1) 油圧ゴムホース

[交換時期]

- ゴムホースは2年ごとに交換してください。

[交換基準]

- ひび割れ、亀裂など異常が発見されたもの。
- 油漏れ、油のにじみ等があるもの。

(2) チェーン

[交換時期]

- チェーンは外観上異常がなくとも2年ごとに交換してください。
ただし、以下の交換基準にあてはまる場合は必ず交換してください。

[交換基準]

* ボデーを地面まで降ろし、チェーン両側を全体的に点検してください。

- チェーンが著しく錆びているもの。
- チェーンが固着し、キンクしているもの。
- チェーンプレートに有害な傷、クラックが発生したものです。
- ローラーに有害な傷、クラック、回転不良が見られるもの。
- チェーンに硬直、固着が見られるもの。
- チェーンプレートに対してピンが回転しているもの。
- ピンの曲がり、変形、チェーンプレートの反りが著しいもの。
- チェーンの伸びが限界値以上のもの。(下記表参照)

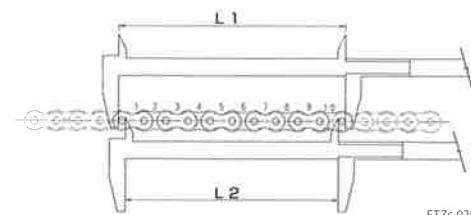
チェーンの伸びの限界

リンク数	出荷時	伸びの限界値
5リンク	127 mm	130 mm
10リンク	254 mm	260 mm

[チェーン伸び測定方法]

- チェーン全体のガタをなくすため、チェーンの張りを調整してから測定してください。
- 5または10リンクで測定してください。
- チェーン全長の前、中央、後の両側について、合計6箇所を測定してください。

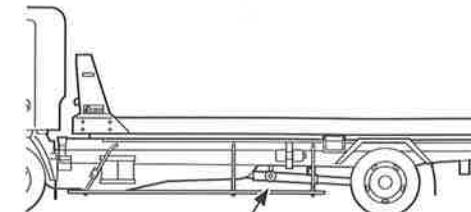
$$\text{チェーン実測値 } L = (L_1 + L_2) / 2$$



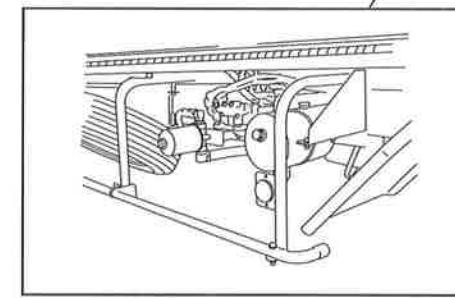
(3) フィルター

[交換時期]

- ご使用を始めてから3ヵ月で1回、以降は1年ごとに交換してください。



FZ2c-030A



FTZc-031A

* 弊社指定のフィルターをご使用ください。

交換する際は、最寄りの極東開発工業株式会社サービス拠点にお申し付けください。

■ 消耗部品

(1) ウインチ・荷締め機ワイヤーロープ

[交換基準]

- ・ キンクしたもの。



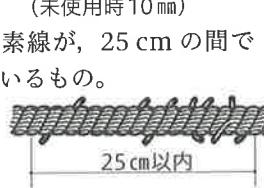
- ・ 著しい形くずれ、または腐食があるもの。



- ・ ワイヤーロープひとりよりの間ににおいて、素線の数が3本以上切断しているもの。



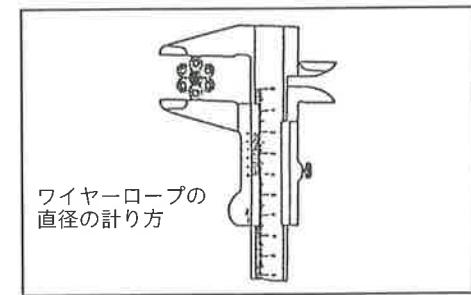
- ・ 直径の減少が公称値の7%を超えたもの。
(ウインチワイヤーロープの場合、9.3 mm
が使用限度です) 直径 []
(未使用時 10 mm)



NFTd-007A-NFTd-011A

! 警告

異常があった場合は必ず点検を受けてください。そのまま使用するとワイヤーロープが破損したときに重大な傷害を受けるおそれがあり、危険です。特に、ワイヤーロープに変形、ほつれがある場合は、ワイヤーロープの強度が低下しているおそれがあります。



NFTd-012A

(2) シリンダーパッキン、シール類

ウインチ、ポンプ、スライドモーター、ウインチモーター、バルブのパッキン、シール類
[交換基準] 油漏れ、耐圧不良、シリンダーの自然降下、引き上げ能力の低下、等。

(3) 各部摺動部のブッシュ

[交換基準] 摺動部からの異音、ヒンジ部のガタ、動作の異常、等。

(4) ウインチ滑車のシーブ、樹脂ローラー、チェーンパット、パット等の樹脂部品

[交換基準] 破損、著しい摩耗、亀裂、変形、等。

(5) 電球、ラジコン電池

[交換基準] 球切れ、電池切れ時。

(6) テールゲートロックバーストッパー等のゴム部品、サイドあたり上面滑り止め

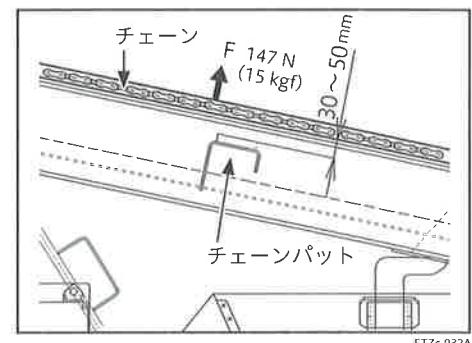
[交換基準] 破損、著しい摩耗、亀裂、変形、等。

■ チェーンの調整・洗浄

(1) チェーン調整

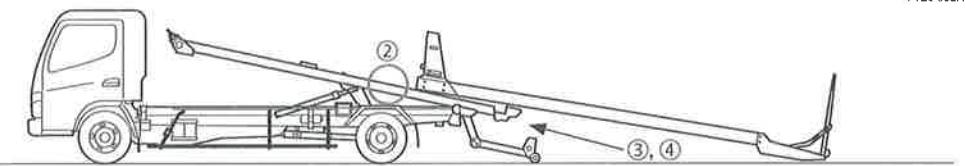
- ① スライド下げ操作により、ボデーを下図の姿勢にしてください。
- ② チルトフレーム中間部のチェーンを持ち上げてください。147 N (15 kgf) の力で持ち上げ、チェーン下部とチェーンパットとの隙間が30~50 mmとなるように調整してください。
- ③ 調整はチルトフレームエンドの六角ボルトで行ってください。
- ④ 六角ボルト調整後、回り止めロックを忘れずに取り付けてください。

② 詳細



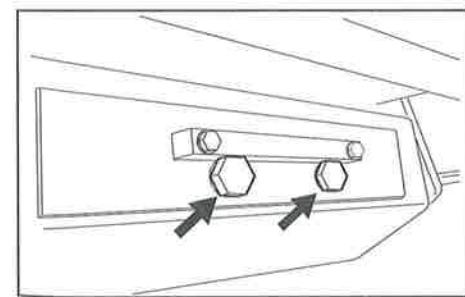
FTZc-032A

① スライド



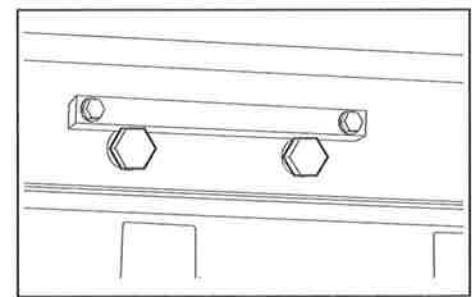
FTZc-033A

③ 詳細 ボルト調整



FTZc-034A

④ 詳細 回り止めロック



FTZc-035A

(2) チェーンの洗浄

- ・ チェーンに砂、金属粉などが付着している場合は洗浄してください。
- ・ 洗浄は灯油で行ってください。
洗浄に使用した灯油は正しい処分法で処分してください。
- ・ 酸やアルカリ類、ガソリン、高揮発性溶剤などで洗浄しないでください。
- ・ 洗浄油が乾燥した後、当社の指定グリースを十分に給脂してください。
- ・ 洗浄、給脂はチェーンの長持ちにつながります。

* 定期点検時、交換部品を念入りに点検し、交換時期が来ていなくても交換基準に達している場合は、速やかに交換してください。

交換時期に交換していない場合、定期点検が実施されていない場合、または交換基準に達している状態で使用しているときに不具合が発生した場合は、保証期間内であっても保証修理の適用外となることがあります。

* 交換部品の交換や点検整備は、極東開発工業株式会社サービス拠点にお申し付けください。

■ ラジコン(送信機)の電池交換方法

- ① 電池のフタのネジをドライバーまたはコインでゆるめ、フタを外してください。



注意

電池ボックス内の技術適合シールは、はがさないように注意してください。

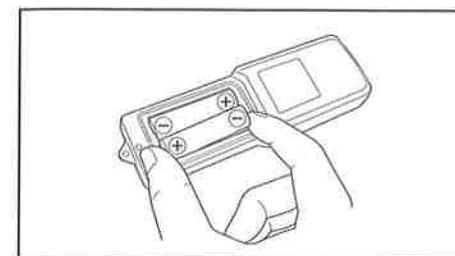
- ・ 技術適合シールがないと使用できません。

- ② 古い電池を取り外し、新しい電池と交換してください。

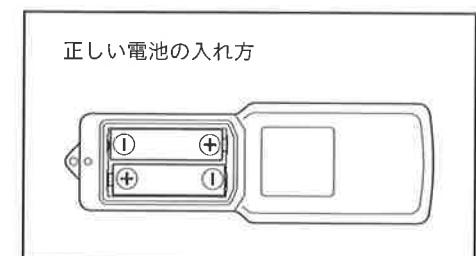


注意

- ・ 電池の向き (+/-) は、電池ボックス内の表示通りに入れてください。
- ・ ケース内に金属片などの異物が入らないように注意してください。
- ・ 電池パネが歪まないように注意してください。故障の原因となります。



WRB-025A



WRB-026A

* 電池(単三2本)は正しく入れてください。

* 古い電池と新しい電池の併用はしないでください。電池寿命が短くなります。

- ③ 電池フタを取り付け、ドライバーまたはコインでネジを確実に締めてください。



注意

- ・ ネジがゆるんでいると防水性が損なわれます。確実に締めてください。
- ・ 電池のフタに取り付けられているO-リングは、必ず元の位置に取り付けてください。取り付けないと防水性が損なわれます。

■ ラジコントラブル時の処置表

症状	点検箇所	処置
送信機の操作はできるが、送信機インジケーター（ランプ）が点滅する。	点滅は1秒周期（0.5秒点灯、0.5秒消灯の低速点滅）ではありませんか。	アルカリ乾電池の消耗を知らせる注意信号です。早めに新品のアルカリ乾電池へ交換してください。
送信機の操作スイッチを操作しても作動しなくなった。	(1)送信機のインジケーター（ランプ）が消灯していませんか。	送信機の電源を入れ、そのまま80秒経過するとオートパワーオフ機能が働きます。送信機の電源を入れ直してください。
	(2)送信機の電源ボタンを押すと一瞬インジケーター（ランプ）が点灯して消えませんか。 または点灯しない症状はありませんか。	①乾電池が消耗しています。新品のアルカリ乾電池へ交換してください。 ②乾電池が正しく入っていません。乾電池の向きに注意し正しく入れてください。
	(3)送信機のインジケーター（ランプ）が0.2秒周期（0.1秒点灯、0.1秒消灯の高速点滅）の点滅をしていませんか。	周囲の電波が混雑して、受信機に電波が届いていない可能性があります。 受信機すぐ近くで操作してください。 それでも直らない場合は、時間をおいてから、操作し直してください。
	(4)送信機の外観（ケース、ボタンのゴムカバー等）に損傷箇所はありませんか。また、電池タブは完全に閉じていますか。送信機内に水が浸入していませんか。	送信機が故障している可能性があります。弊社サービス拠点での修理が必要です。
	(5)受信機の電源LED（28ページ参照）は点灯していますか。 ①車両のキースイッチがONに入っていますか。 ②ヒューズは切れていませんか。	①車両のキースイッチをONにしてください。 ②切れているヒューズを交換してください。ヒューズは、キャブ内、またはコントローラー内に設置されています。 ①②に問題がない場合は、受信機が故障しています。弊社サービス拠点での修理が必要です。
	(6)受信機の受信確認LED（28ページ参照）が當時点滅していませんか。	受信機の設定に不具合がある可能性があります。今まで使用していた送受信機の場合は問題ありませんが、送受信機交換時には確認してください。弊社サービス拠点での点検・修理が必要です。
	(7)受信機の受信確認LED（28ページ参照）は点灯しているが、作動しない症状はありませんか。	受信機の内部が故障している可能性があります。弊社サービス拠点での修理が必要です。
時々操作不能になる。または、操作できる距離が短くなる。（10m程度）操作不能のときは、受信機の受信確認LED（28ページ参照）が送信機の操作中に点灯しない。	受信機の受信確認LED（28ページ参照）が送信機の操作中に点灯しない。 ①送信機と受信機の間に障害物がありますか。 ②作業環境が金属やコンクリートが多い場所ではありませんか。また、周囲にノイズを発生する機器や高圧送電線はありませんか。	①作業者は、受信機が見える位置に移動してください。 ②送信機の電波が妨害され、受信機に届いていない可能性があります。 作業場所を移動するか、固定スイッチで操作してください。
送信機のインジケーター（ランプ）の異常表示と操作不能。（當時連続点灯、点滅又は消灯）	送信機のスイッチボタン、ボタンゴムカバー、スイッチケース等の著しい損傷はありませんか。	送信機内の基板が破損している可能性があります。弊社サービス拠点での修理が必要です。

*トラブルによりラジコンが使用できない場合は、緊急操作として固定で取り付けされているスライドスイッチ（助手席側後輪タイヤ前方）、ワインチスイッチ（運転席側ボデー前方）で操作することができます。
修理中はそちらをご使用ください。

■ 主要諸元

架装型式	JN02-47	JN02-46
用途	車載専用車	一般車
架装シャシ	2~3.5t車級	
車両寸法	全長※(mm) 7,575~7,655 全幅 (mm) 2,190 全高※(mm) 2,160~2,255	6,880~6,955 2,190 2,160~2,250
荷台内法	内法長 (mm) 5,700 内法幅 (mm) 2,070 内法高 (mm) 78	5,000 2,070 78
最大積載量※(kg)	2,000~3,500	2,000~3,500
荷台傾斜角	荷降し時(°) 約0.9 引上時最大傾斜角(°) 約12 テールゲート傾斜角(°) 約4.5	約1.1 約14 約6
操作方法	ラジコン、緊急操作用トグルスイッチ	
ワインチ	巻上能力(t) 2.0(単索) ロープ Φ10 mm × 16(小型Gフック付)	
操作	ラジコン、緊急作用トグルスイッチ	
標準付属品		
LED作業灯：2コ ボデーサイド滑り止め：左右 STC横巻上げ：1コ 丸環フック：14コ(埋め込み式：4コ) 荷締機：2コ 輪止め：2コ 歯止め：2コ		

■ ラジコン

送受信機共通	使用周波数	429.2500~429.7375 MHz(12.5 kHz 間隔、40波)
	到達距離	最大約100 m (電波を遮る障害物がない状態。ただし実際に操作可能な距離は周囲の電波状況によって異なります)
	使用温度範囲	-20~+60°C
	使用湿度範囲	90±5%RH以下(ただし結露なきこと)
送信機	送信出力	10 mW以内[空中線電力](電波法に規定する特定小電力無線)
	電源	単三アルカリ電池2本
	電池寿命	連続操作約30時間
	耐水性	日常生活防水(JIS D 0203-1976の散水試験R1)

サービス拠点

極東開発工業株式会社

本社	兵庫県西宮市甲子園口6-1-45
東京本部	東京都品川区東品川3丁目15-10
横浜工場	神奈川県大和市深見西4-1-62
名古屋工場	愛知県小牧市大字東田中字松本1375
三木工場	兵庫県三木市別所町巴2 三木工場公園内
福岡工場	福岡県飯塚市大字伊岐須428

営業本部・営業部・営業所

	TEL.	FAX.
北海道支店	060-0033 011-251-5701	011-251-5703
帯広営業所	080-0810 0155-21-4373	0155-21-4380
東北支店	983-0035 022-236-6692	022-236-2729
仙台営業所	同上	同上
盛岡営業所	020-0864 019-656-4300	019-635-6161
青森営業所	030-0823 017-722-0745	017-722-5830
福島営業所	963-8866 024-934-0663	024-933-5342
首都圏支店	140-0002 03-5781-9825	03-5781-3434
東京営業所	同上	同上
神奈川営業所	242-0018 046-263-7000	046-261-0053
千葉営業所	264-0024 043-234-3721	043-234-3771
茨城営業所	310-0803 029-227-5162	029-227-5163
北関東支店	331-0814 048-668-7712	048-668-7715
埼玉営業所	同上	同上
高崎営業所	370-0069 027-362-6485	027-362-0879
新潟営業所	950-0916 025-244-9161	025-244-8540
甲信営業所	390-0814 0263-35-0073	0263-35-1016
中部支店	485-0826 0568-71-2231	0568-75-5607
名古屋営業所	同上	同上
静岡営業所	422-8008 054-267-4100	054-267-4102
北陸営業所	920-0031 076-263-6691	076-263-6490
富山営業所	930-0004 076-443-6177	076-443-6178
三重営業所	513-0809 059-384-3117	059-384-3116
関西支店	663-8545 0798-66-1014	0798-65-7353
大阪営業所	同上	同上
兵庫営業所	同上	同上
京都営業所	612-8417 075-662-1077	075-662-1088
中國支店	733-0037 082-232-8358	082-232-8359
広島営業所	同上	同上
岡山営業所	700-0941 086-232-7781	086-212-0588
山陰営業所	699-0108 0852-53-0600	0852-53-0601
四国営業所	761-8071 087-815-0450	087-867-8655
松山営業所	790-0053 089-913-8860	089-913-8861
九州支店	812-0893 092-471-1001	092-431-1951
福岡営業所	同上	同上
熊本営業所	862-0913 096-387-7255	096-387-7261
南九州営業所	890-0065 099-253-5768	099-253-5717
沖縄営業所	901-2133 098-879-6611	098-879-6613

平成27年2月現在

サービス拠点

特装事業部・営業本部 サービス課、生産本部・サービス部、サービス技術部、パツセンター

	TEL.	FAX.
サービス本部	神奈川県大和市深見西4-1-62	242-0018 046-262-7117 046-261-0053
《ロードサービス部》		
東部ロードサービス部		
北日本サービス課(札幌)	北海道札幌市中央区北三条東12丁目99-6	060-0033 011-251-5337 011-251-5703
北日本サービス課(仙台)	宮城県仙台市宮城野区日の出町2丁目5-11	983-0035 022-236-6695 022-236-2729
関東サービス課	埼玉県さいたま市北区東大成町2丁目299-1 オリオンビル2F	331-0814 048-668-7712 048-668-7715
首都圏サービス課	神奈川県大和市深見西4丁目1-62	242-0018 046-262-6962 046-261-0053
西部ロードサービス部		
中部サービス課	愛知県小牧市大字東田中字松本1375	485-0826 0568-71-2245 0568-77-6172
近畿サービス課	兵庫県西宮市甲子園口6-1-45	663-8545 0798-64-3213 0798-65-7353
西日本サービス課(広島)	広島県広島市西区西観音町2番1号 第3セントラルビル4F	733-0037 082-232-8358 082-232-8359
西日本サービス課(福岡)	福岡県飯塚市大字伊岐須428	820-0053 0948-22-3811 0948-23-4503
《パツセンター》		
東部パツセンター	神奈川県大和市上和田2060	242-0014 046-201-0333 046-267-7730
中部パツセンター	愛知県小牧市大字東田中字松本1375	485-0826 0568-71-2244 0568-77-6172
西部パツセンター	兵庫県三木市別所町巴14 三木工場公園内	673-0443 0794-82-2974 0794-82-4210
サービス技術課	兵庫県西宮市甲子園口6-1-45	663-8545 0798-64-2512 0798-64-2568
《直営サービス工場(株)エフ・イ・テック》		
東京サービスセンター	東京都江東区枝川12-28-16	135-0051 03-3647-7801 03-3647-7814
横浜サービスセンター	神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-13-5	221-0022 045-450-3833 045-450-3838
名古屋サービスセンター	愛知県名古屋市緑区大高町中川7-1	459-8001 052-622-3111 052-622-3115
大阪サービスセンター	大阪府堺市堺区築港八幡町1-60	590-0901 072-229-1590 072-229-1591
姫路サービスセンター	兵庫県姫路市白浜町宇佐崎中3-1-1	672-8021 079-245-8701 079-245-8767

サービス員駐在所

	TEL.	FAX.
札幌駐在	北海道札幌市中央区北三条東12丁目99-6	060-0033 011-251-5337 011-251-5703
帯広駐在	北海道帯広市東十条南8-1-21 林業会館2階13号室	080-0810 0155-21-4385 0155-21-4380
岩手駐在	岩手県盛岡市西仙北1丁目15-3 仙北第一ビル2F	020-0864 019-656-4300 019-635-6161
茨城駐在	茨城県水戸市城南1丁目2-10 水戸城南ビル7F-C	310-0803 029-227-5162 029-227-5163
群馬駐在	群馬県高崎市飯塚町97-1 高義ビル7F	370-0069 0273-62-6485 0273-62-0879
千葉駐在	千葉県千葉市若葉区高品町1585-21 ハイネス高品202号	264-0024 043-234-3721 043-234-3771
埼玉駐在	埼玉県さいたま市北区東大成町2丁目299-1 オリオンビル2F	331-0814 048-668-7712 048-668-7715
新潟駐在	新潟県新潟市中央区米山4-1-23 米山Nビルディング5F	950-0916 025-244-9161 025-244-8540
長野駐在	長野県松本市本庄1丁目13-11 本庄ビル4F	390-0814 0263-35-0073 0263-35-1016
三重駐在	三重県鈴鹿市西条4-102 伊藤ビル	513-0809 0593-84-3117 0593-84-3116
静岡駐在	静岡県静岡市駿河区栗原6番25号 静鉄栗原ビル4F	422-8008 054-267-4100 054-267-4102
石川駐在	石川県金沢市広岡1丁目10-9 クオリティシャトウ101号	920-0031 076-263-6691 076-263-6490
京都駐在	京都府京都市伏見区竹田向代町18番2号 ウィングヒルズ上鳥羽口205	612-8417 075-662-1077 075-662-1088
岡山駐在	広島県岡山市西区西観音町2番1号 第3セントラルビル4F	733-0037 082-232-8358 082-232-8359
山陰駐在	岡山県岡山市北区青江1丁目7-33 ルネ青江402	700-0941 086-232-7781 086-212-0588
四国駐在	香川県高松市伏石町2123-15 丸忠第5ビル	699-0108 0852-53-0600 0852-53-0601
松山駐在	愛媛県松山市竹原2丁目1-12 双和第一ビル202	761-8071 087-815-0450 087-867-8655
九州駐在	福岡県福岡市博多区那珂1-17-9	790-0053 089-913-8860 089-913-8861
福岡営業所	同上	812-0893 092-471-1001 092-431-1951
熊本営業所	同上	862-0913 096-387-7255 096-387-7261
南九州営業所	鹿児島県鹿児島市郡元1丁目9-9 モンテメールビル1F	890-0065 099-253-5768 099-253-5717
沖縄営業所	沖縄県浦添市城間3019 座波建設ビル3F	901-2133 098-879-6611 098-879-6613

フラトップ® Zero II

JNO*-46, 47

取扱説明書(ラジコン 8ch用)

発行 極東開発工業株式会社

平成 27 年 2 月 発行

Q-JN-Y00039

不許複製
